

| | |
|---------------|-----|
| 第82回がん対策推進協議会 | 資料1 |
| 令和4年9月20日 | |

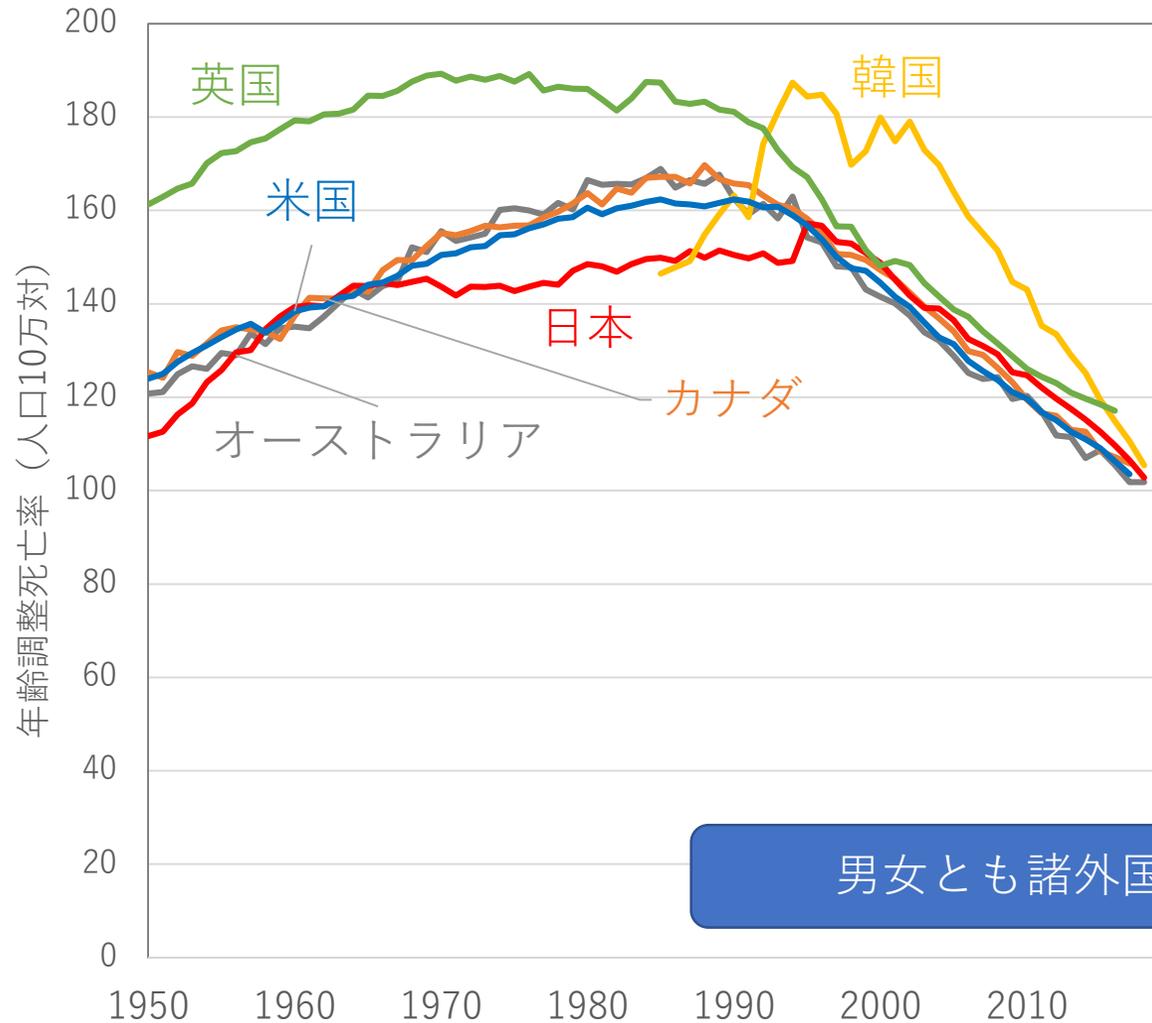
がん年齢調整死亡率の国際比較

2022年度厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業
「がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に及ぼす影響に関する研究」
(研究代表者 片野田 耕太)

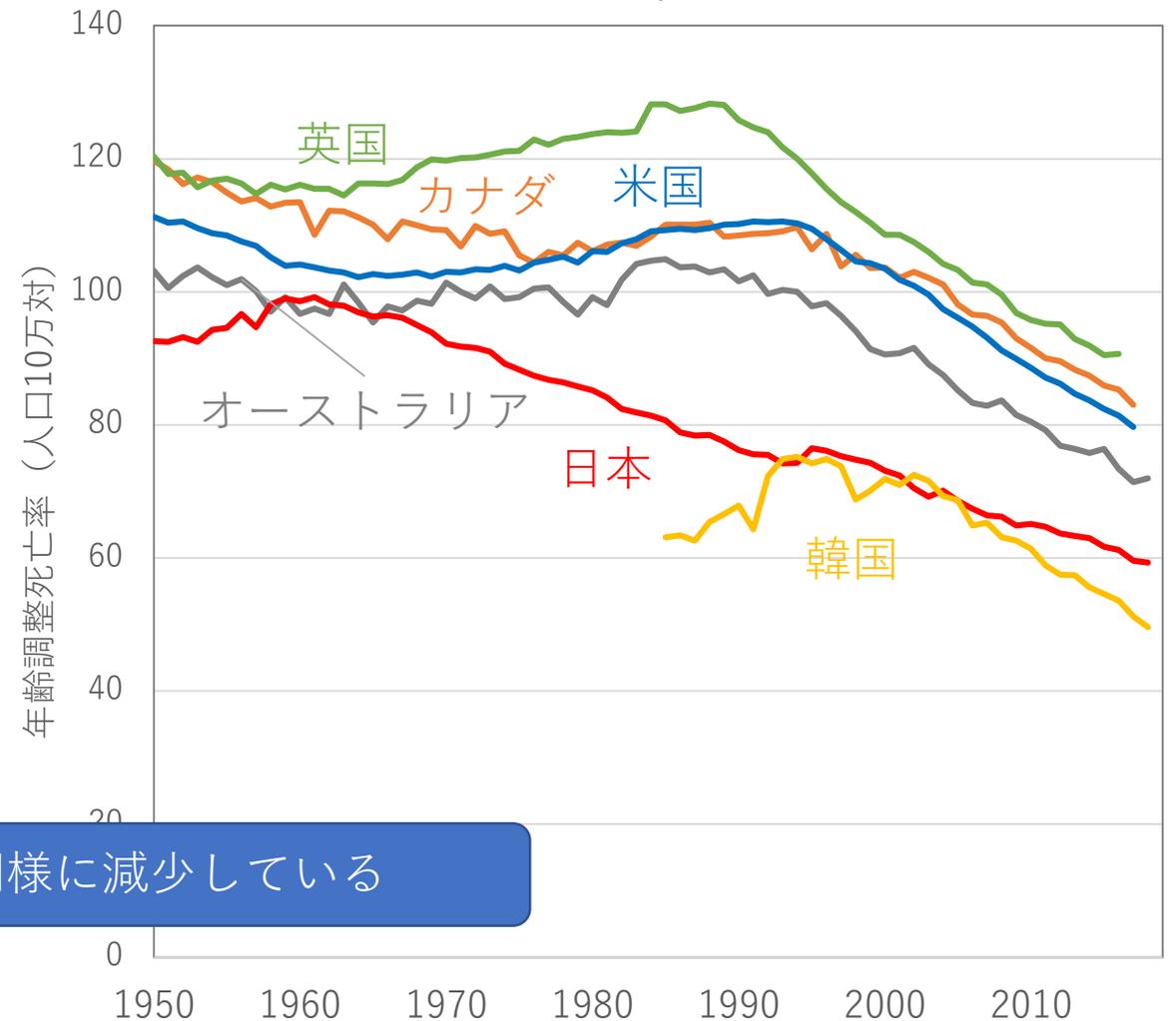
全年齡

全年齡 年齡調整死亡率 全がん

男性



女性



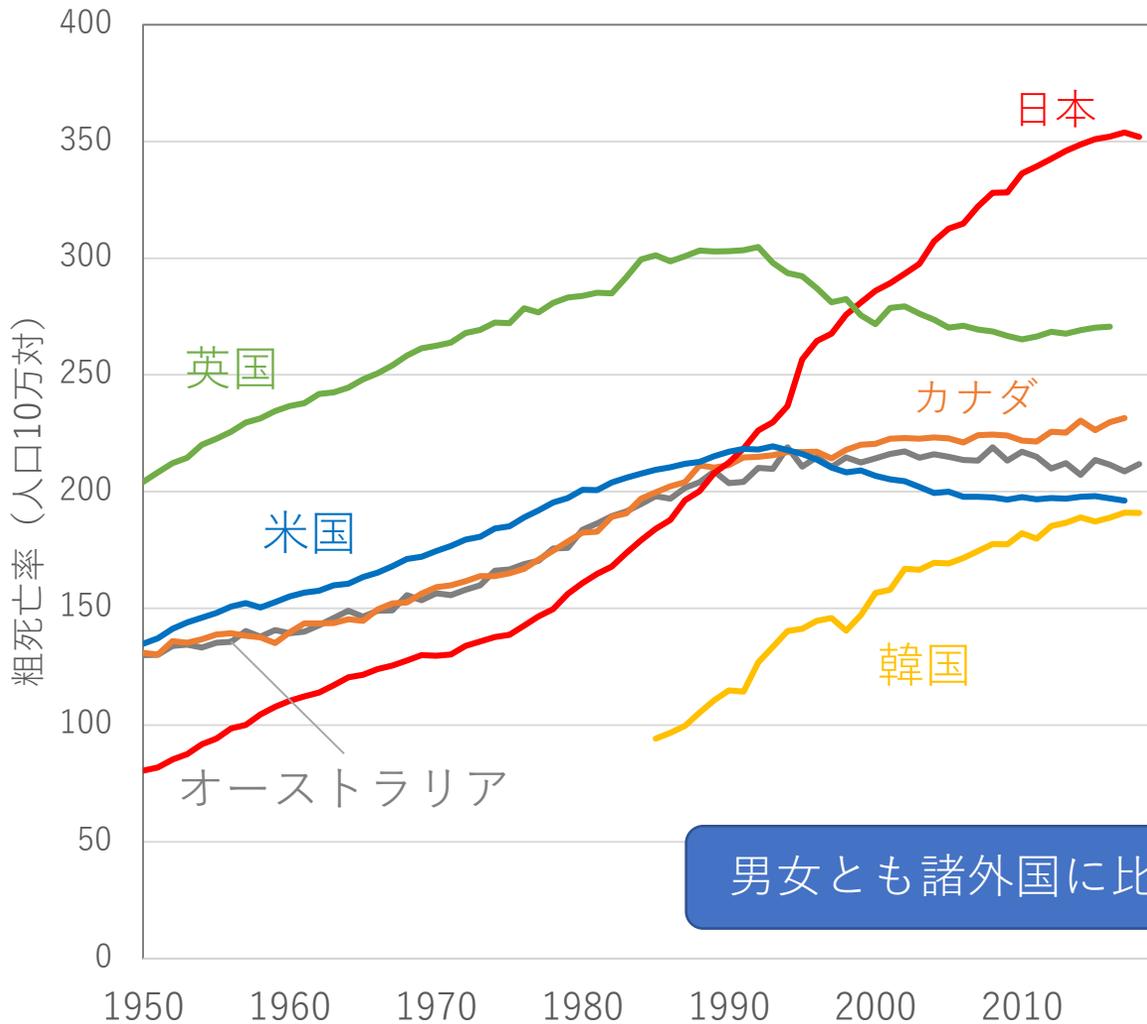
男女とも諸外国同様に減少している

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。全がんは非悪性黒色腫皮膚がんを含まない。

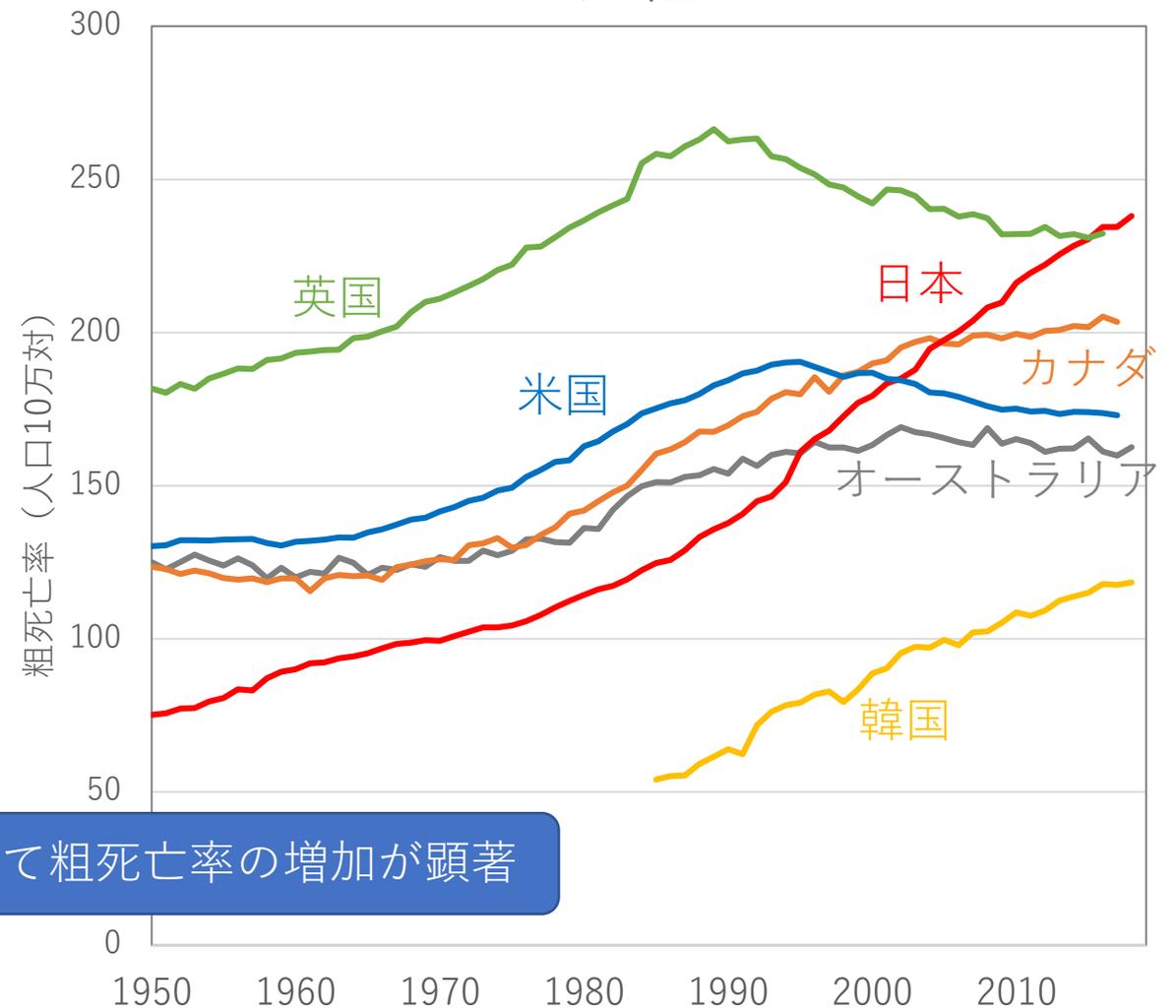
出典：Jpn J Clin Oncol. 2021;51:1680-1686、International Agency for Research on Cancer Global Cancer Observatory (<https://gco.iarc.fr/>)

(参考：全年齡 全がん 粗死亡率)

男性



女性



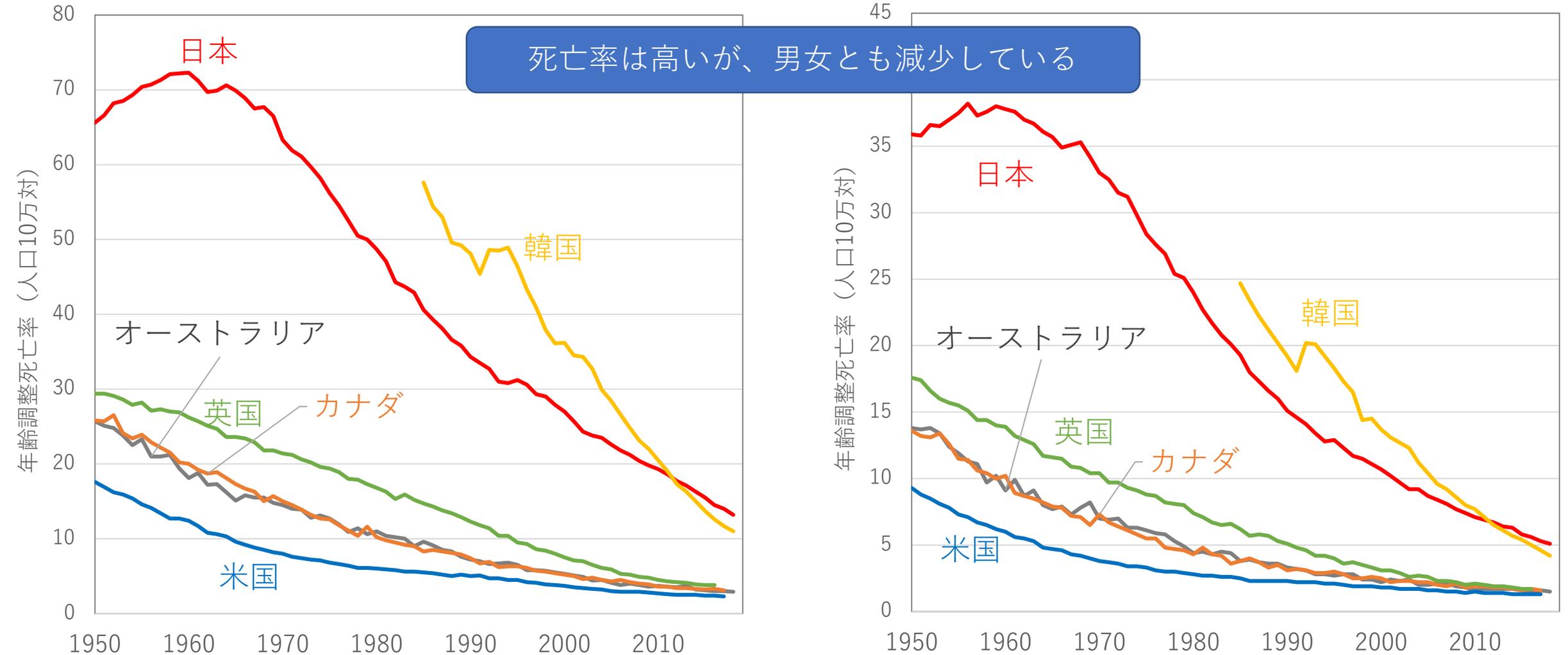
男女とも諸外国に比べて粗死亡率の増加が顕著

男女で縦軸のスケールが異なる。全がんは非悪性黒色腫皮膚がんを含まない。

全年齡 年齡調整死亡率 胃がん

男性

女性

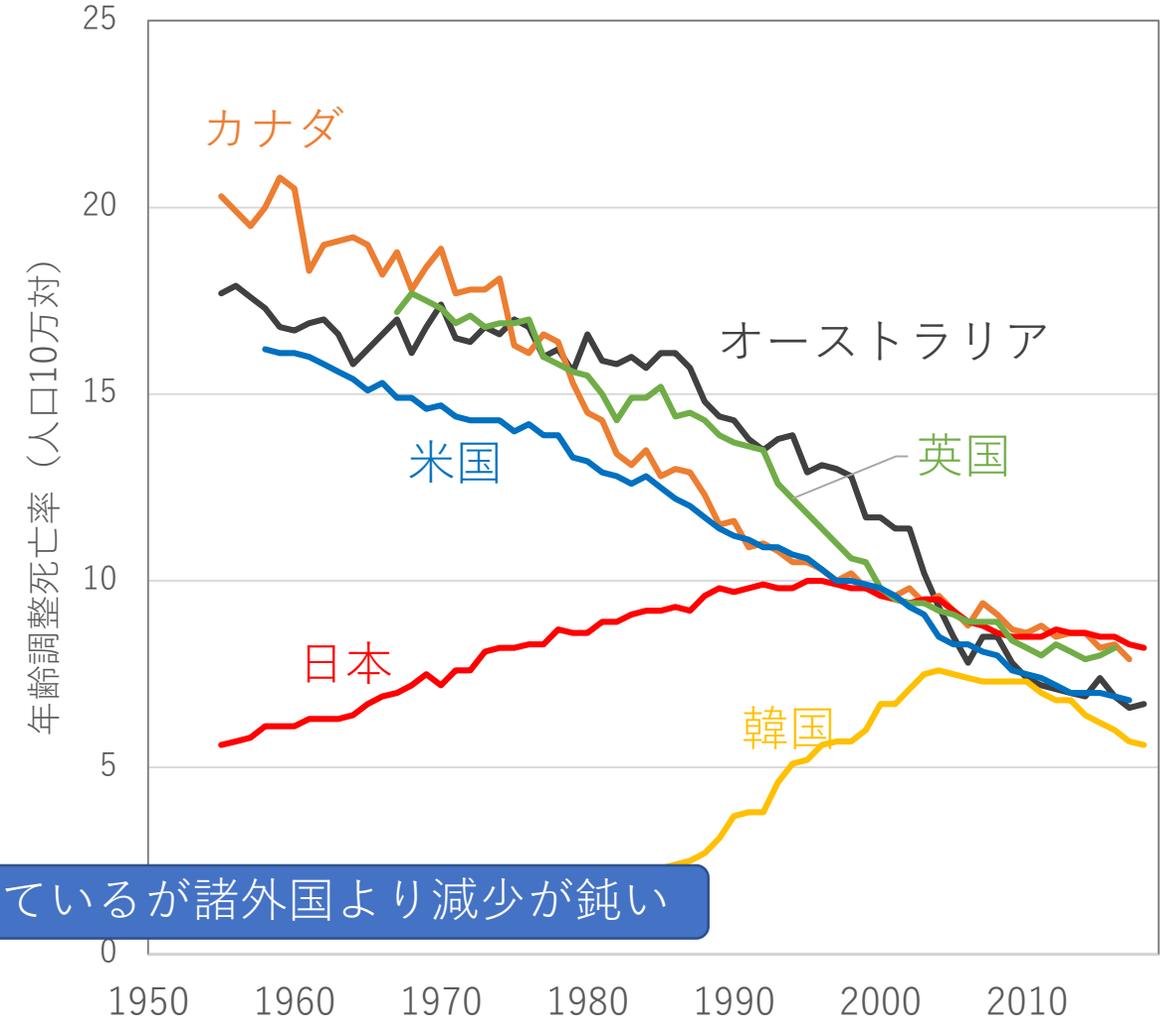
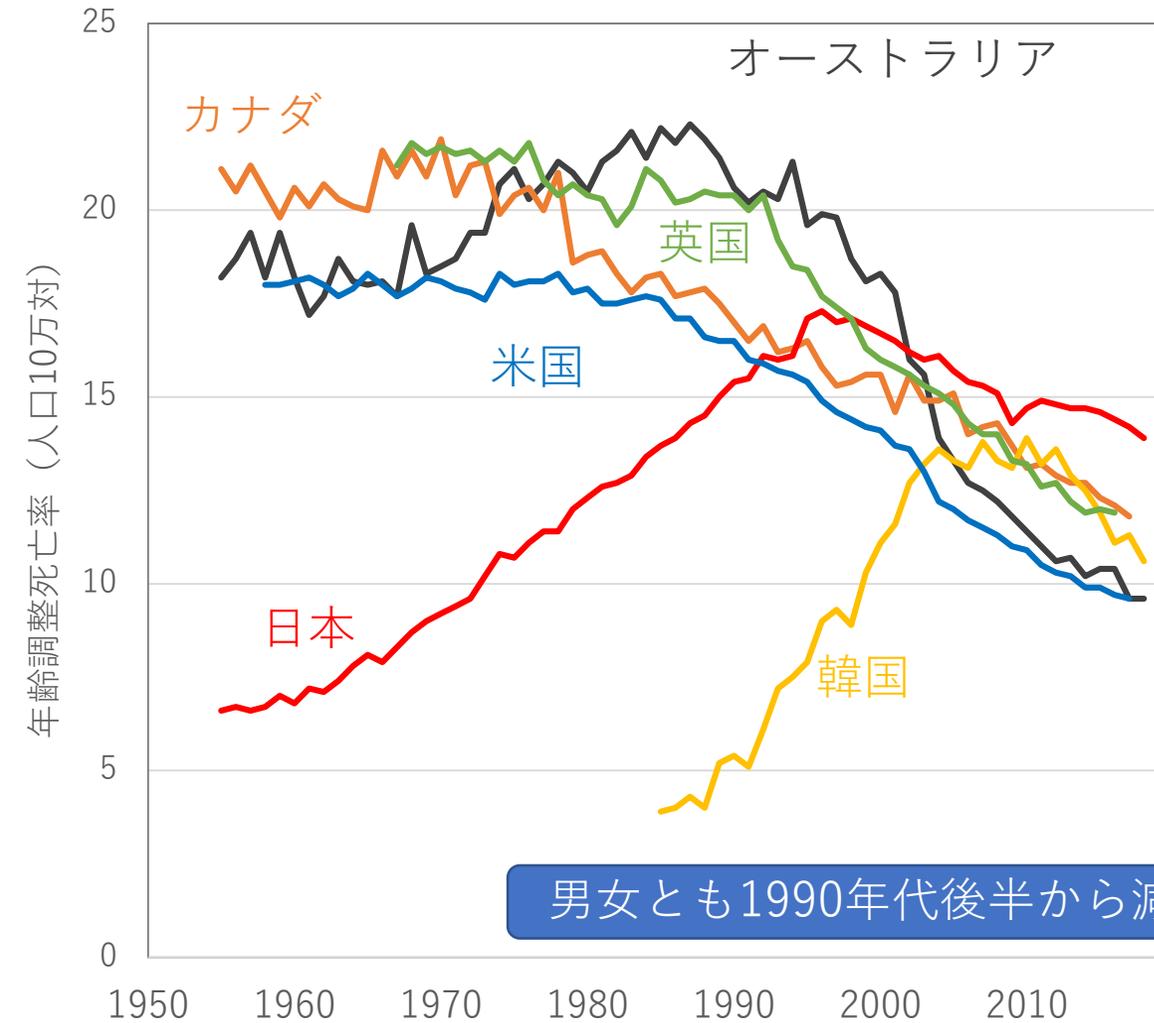


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

全年齡 年齢調整死亡率 大腸がん

男性

女性



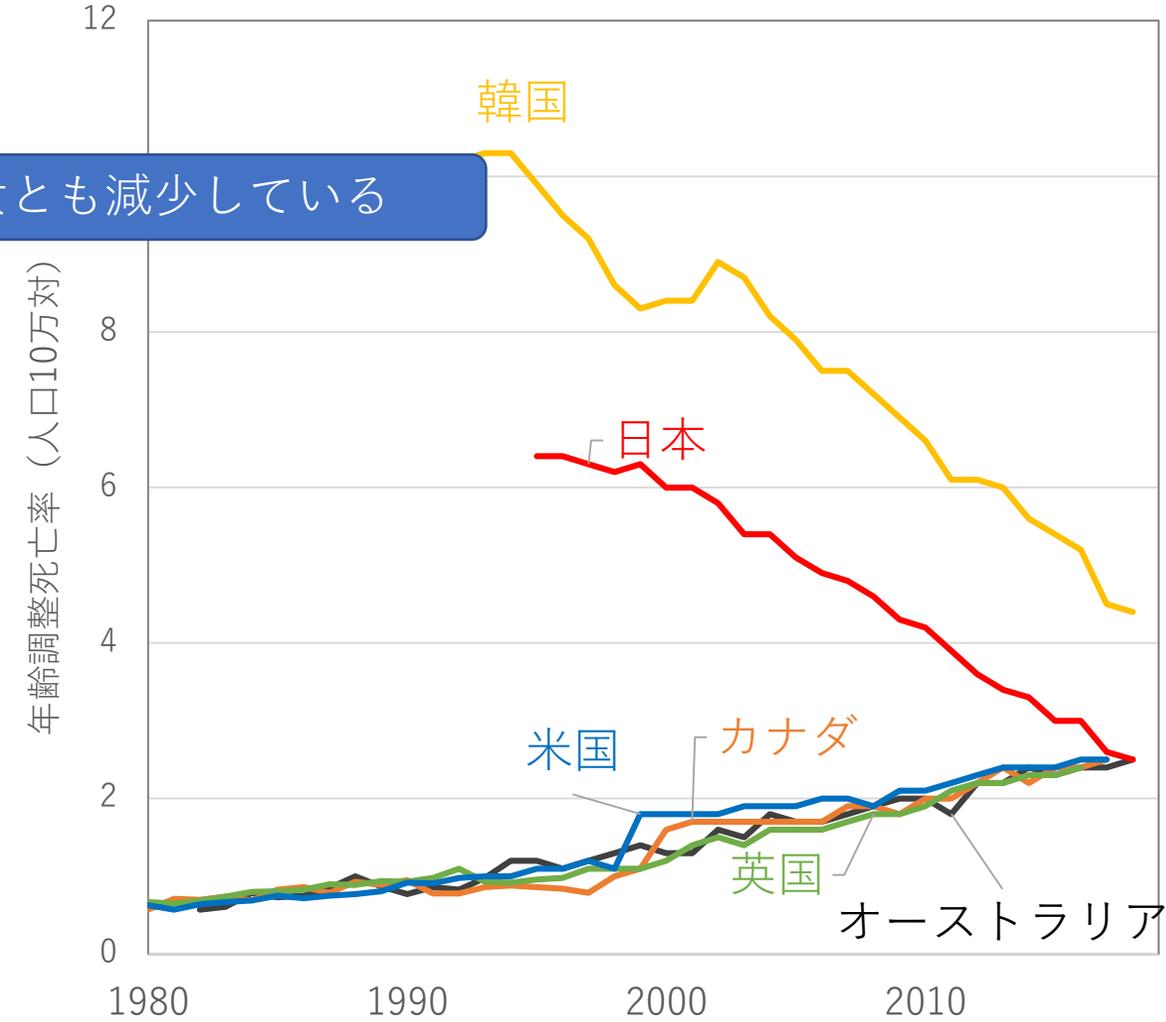
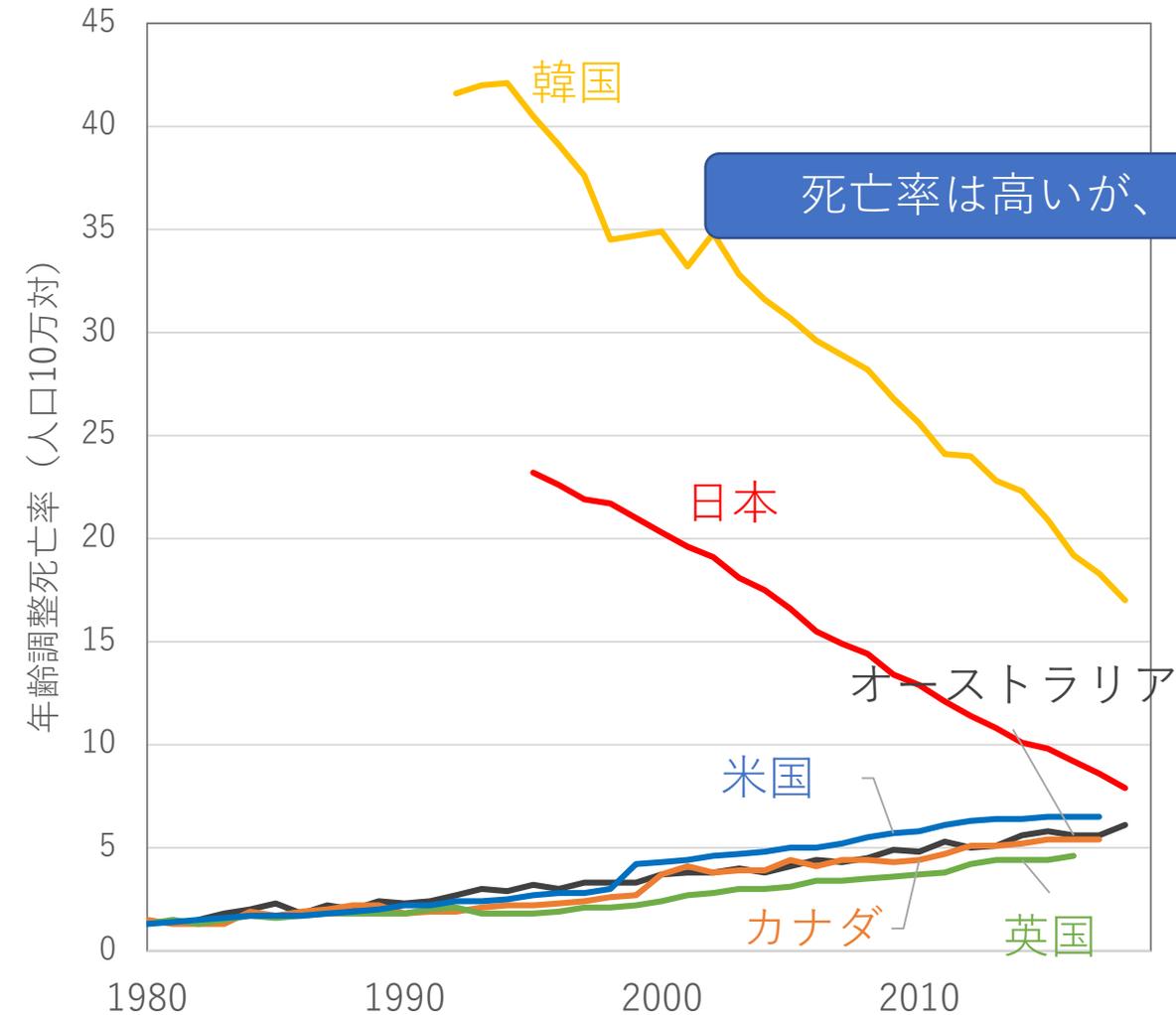
男女とも1990年代後半から減少しているが諸外国より減少が鈍い

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

全年齡 年齢調整死亡率 肝臓がん

男性

女性



死亡率は高いが、男女とも減少している

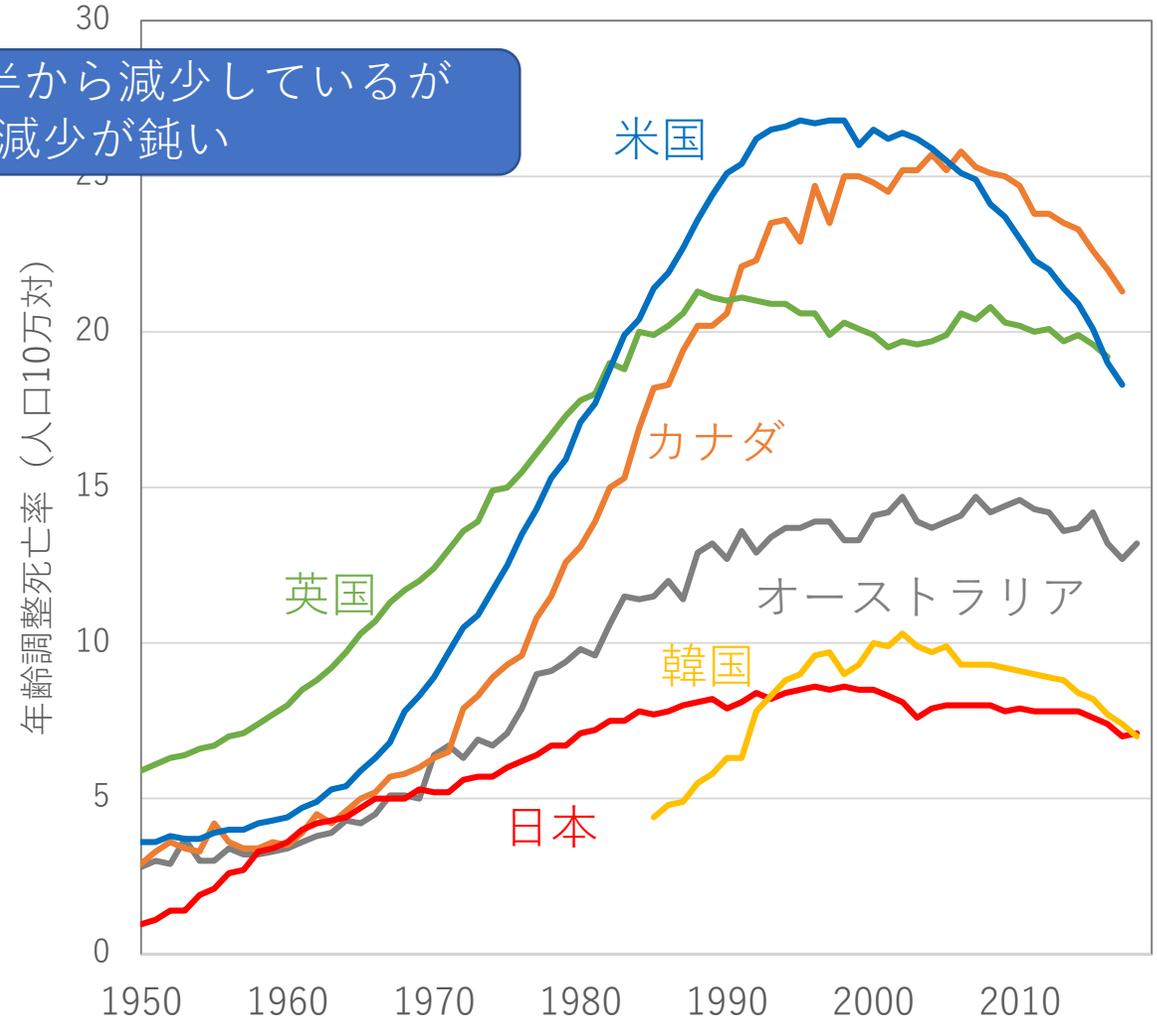
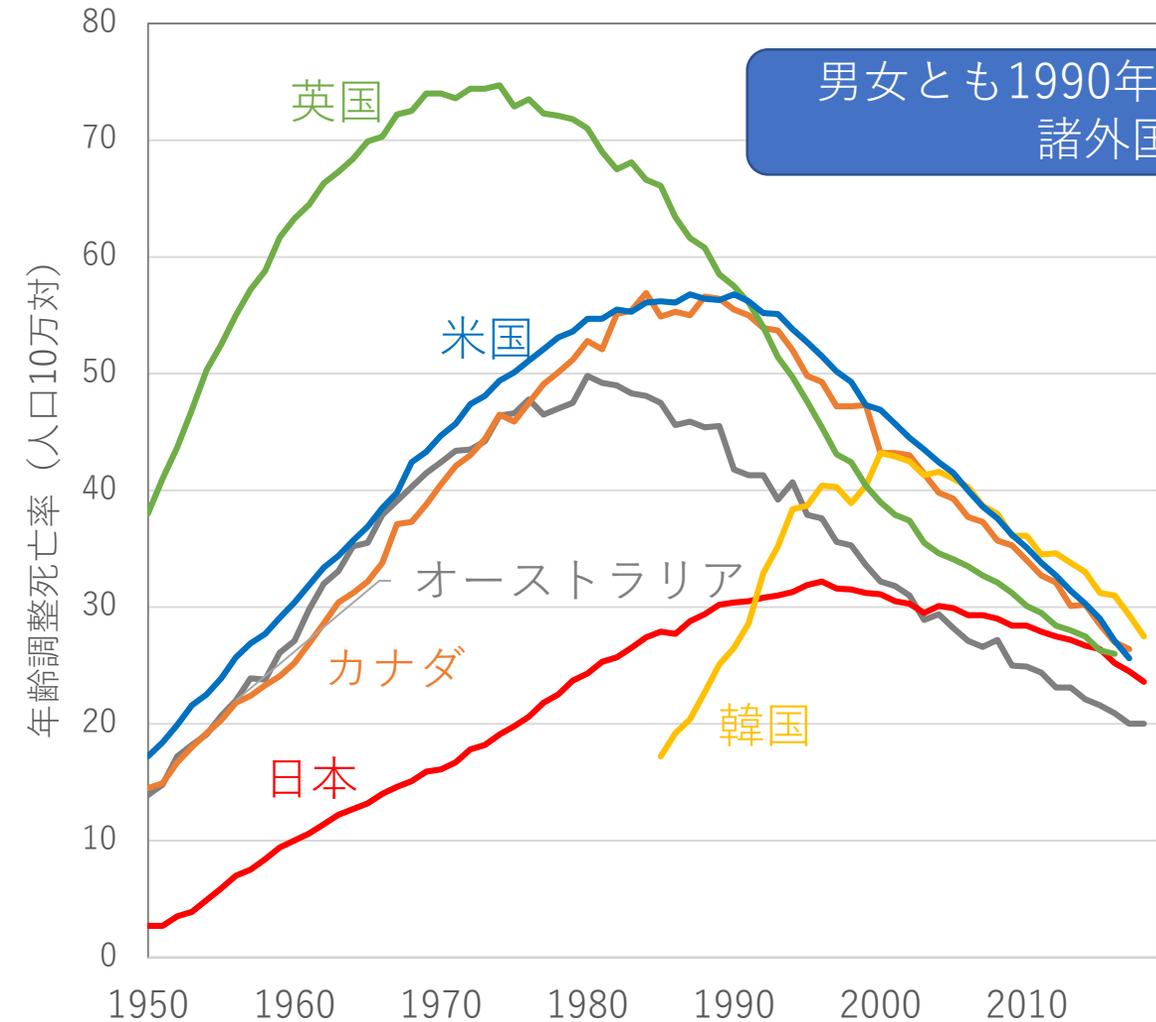
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

全年齡 年齡調整死亡率 肺がん

男性

女性

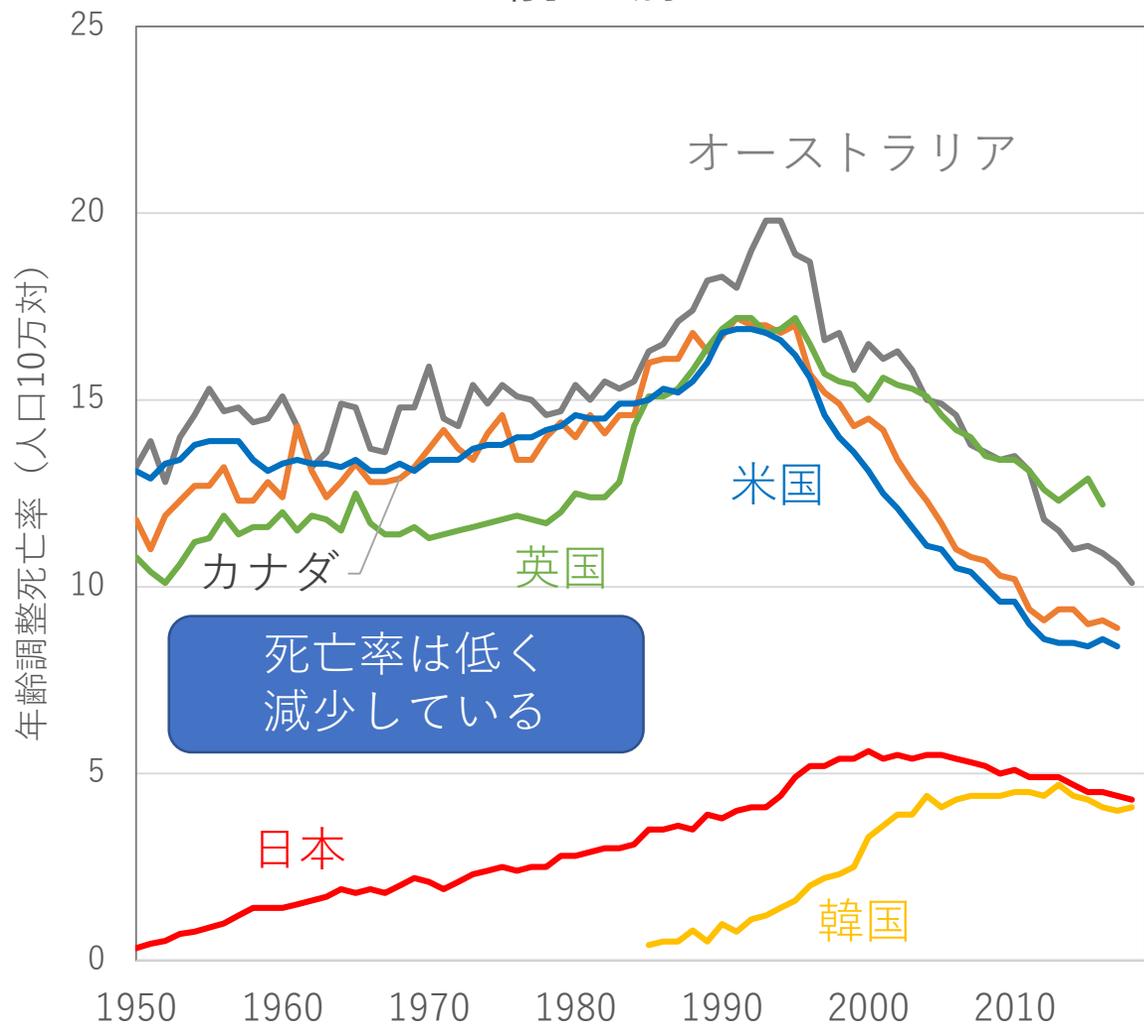
男女とも1990年代後半から減少しているが
諸外国より減少が鈍い



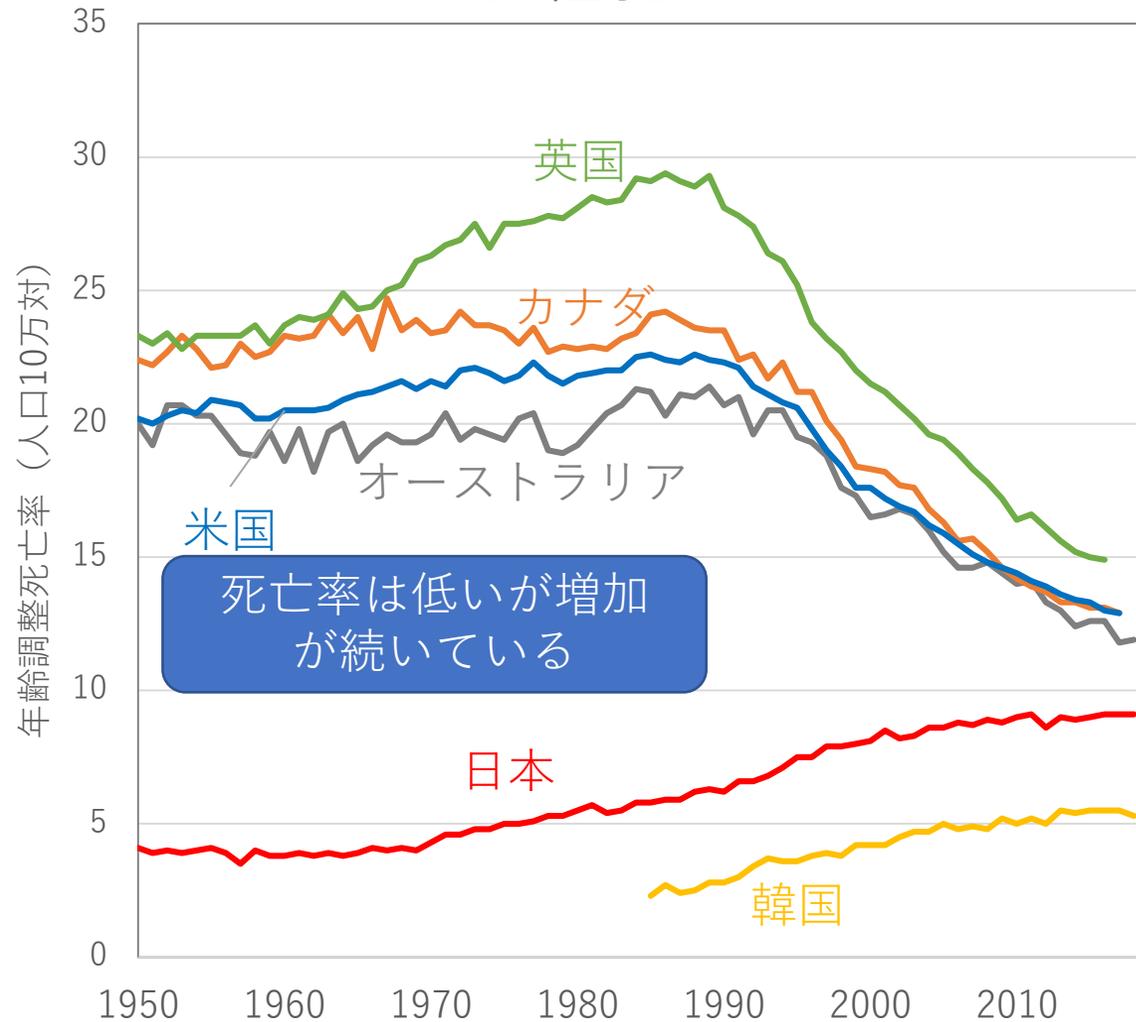
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

全年齡 年齢調整死亡率 前立腺・乳がん

前立腺がん



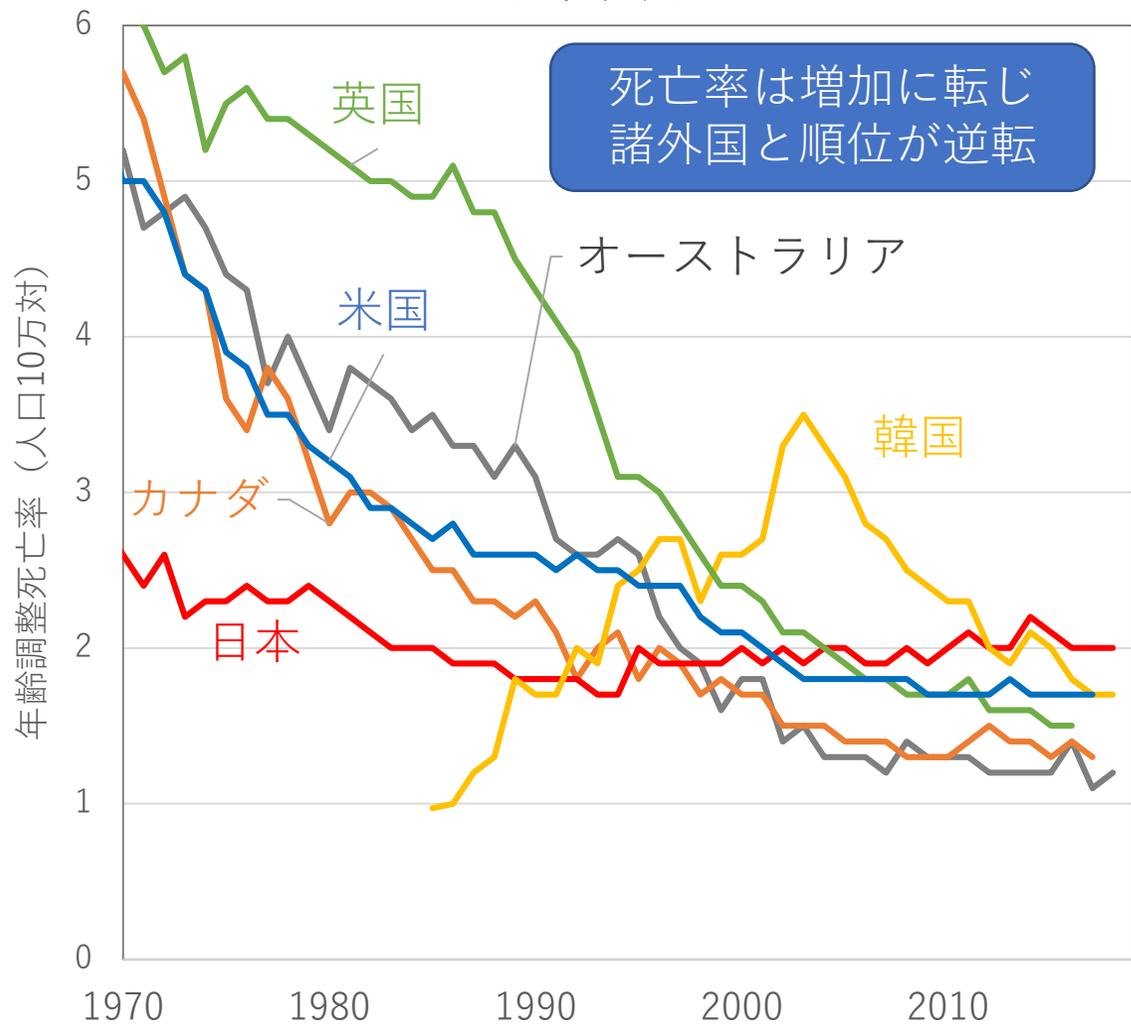
女性乳がん



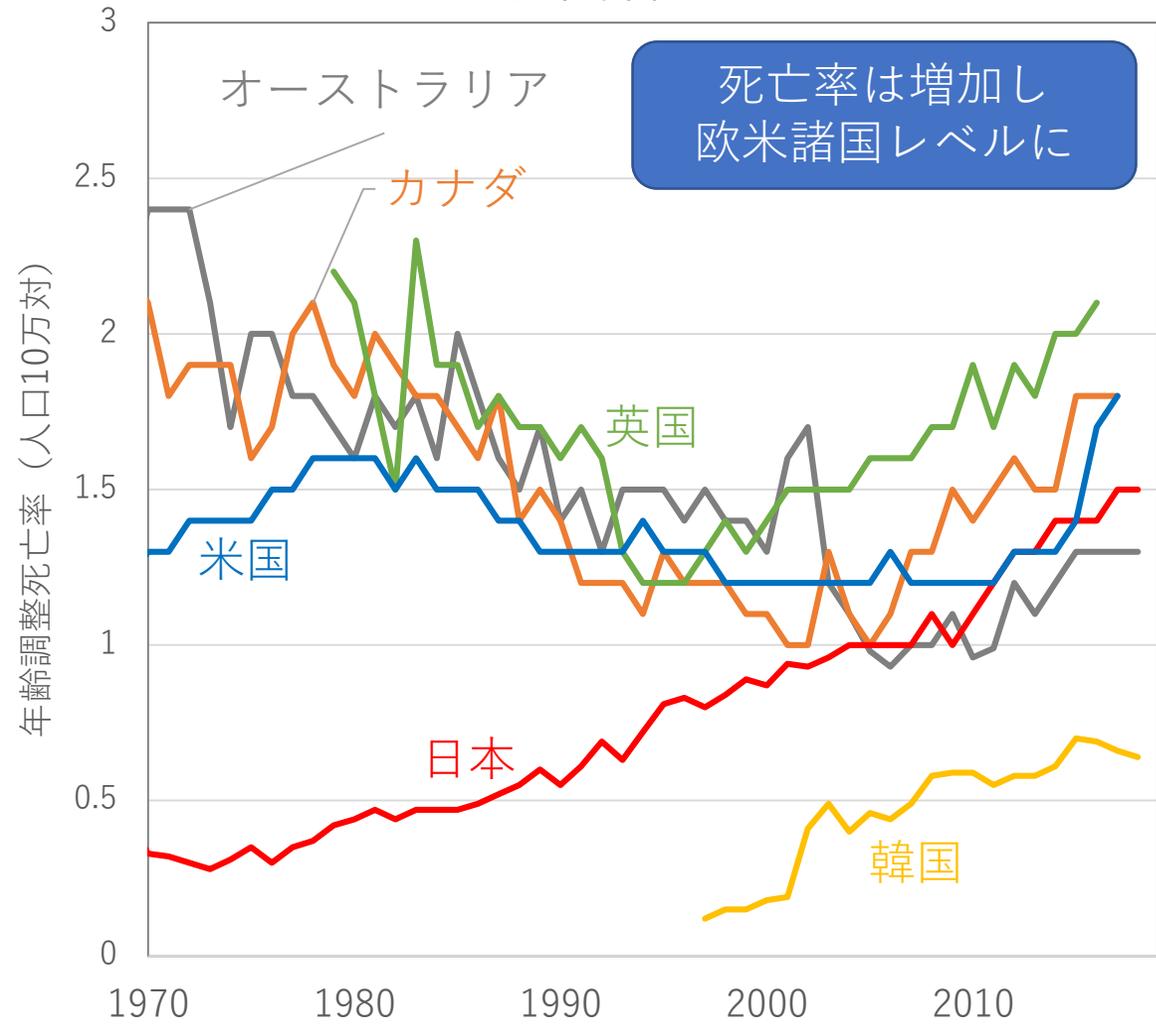
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

全年齡 年齡調整死亡率 子宮頸がん・体がん

子宮頸がん



子宮体がん

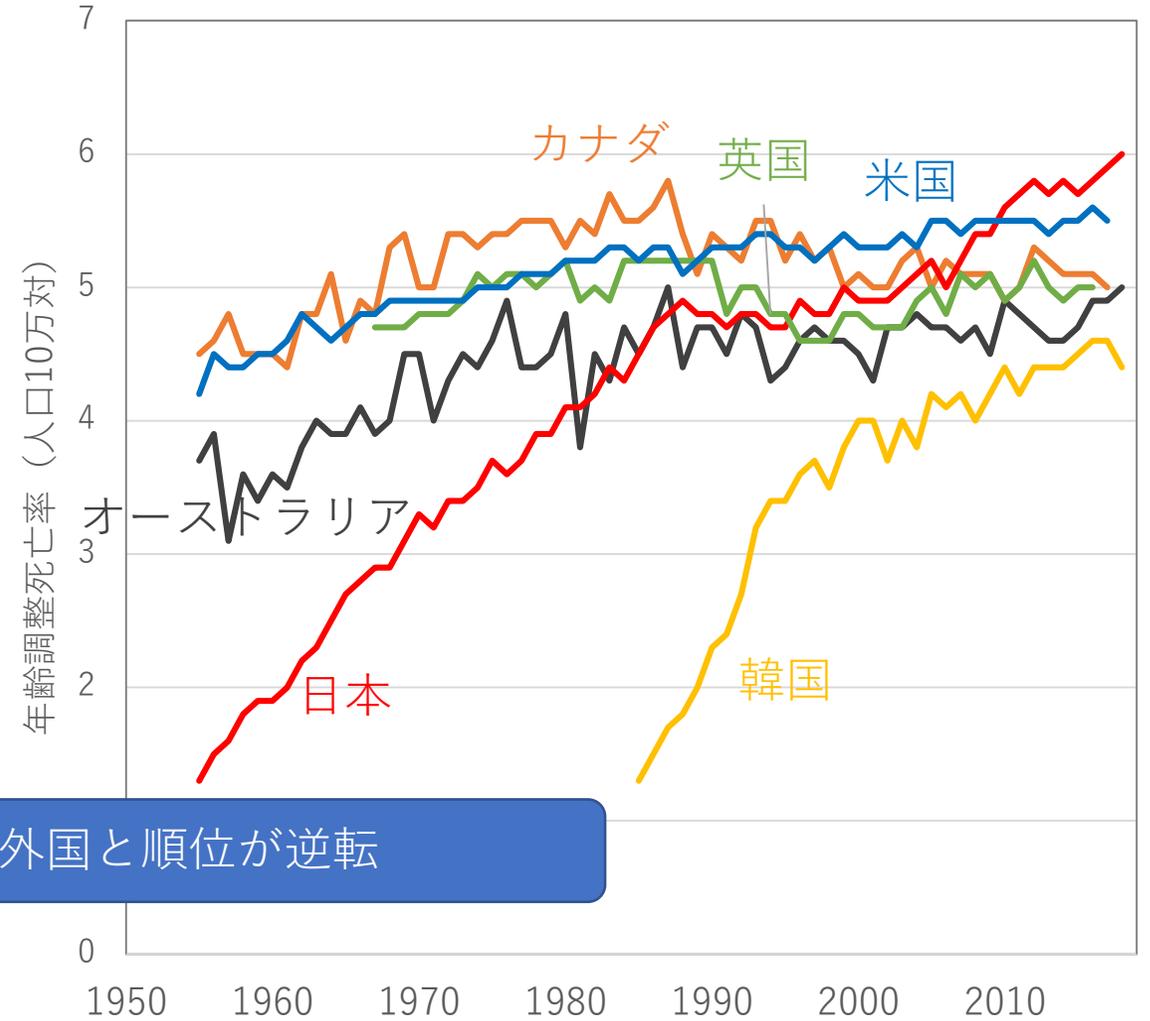
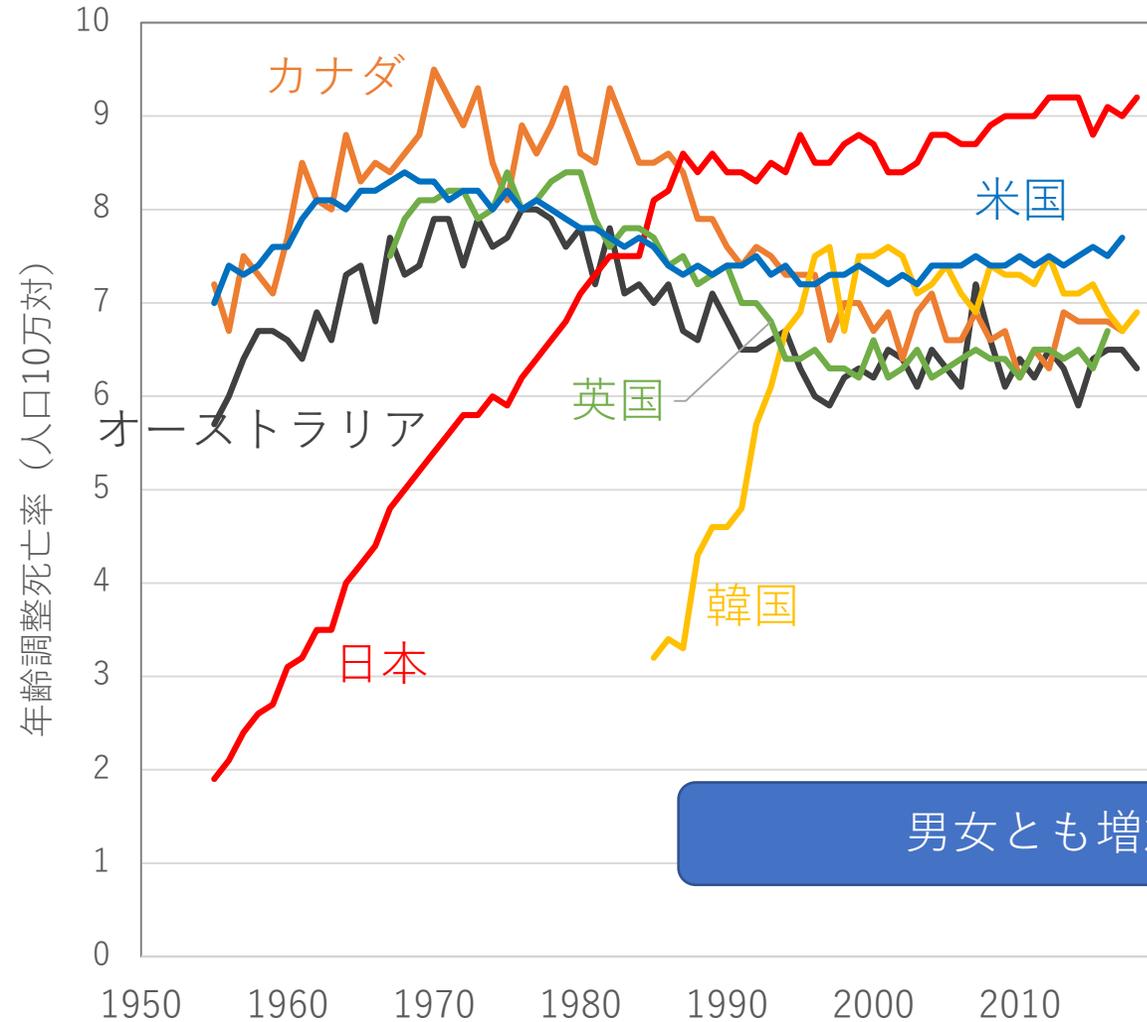


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

全年齡 年齡調整死亡率 膵がん

男性

女性



男女とも増加し諸外国と順位が逆転

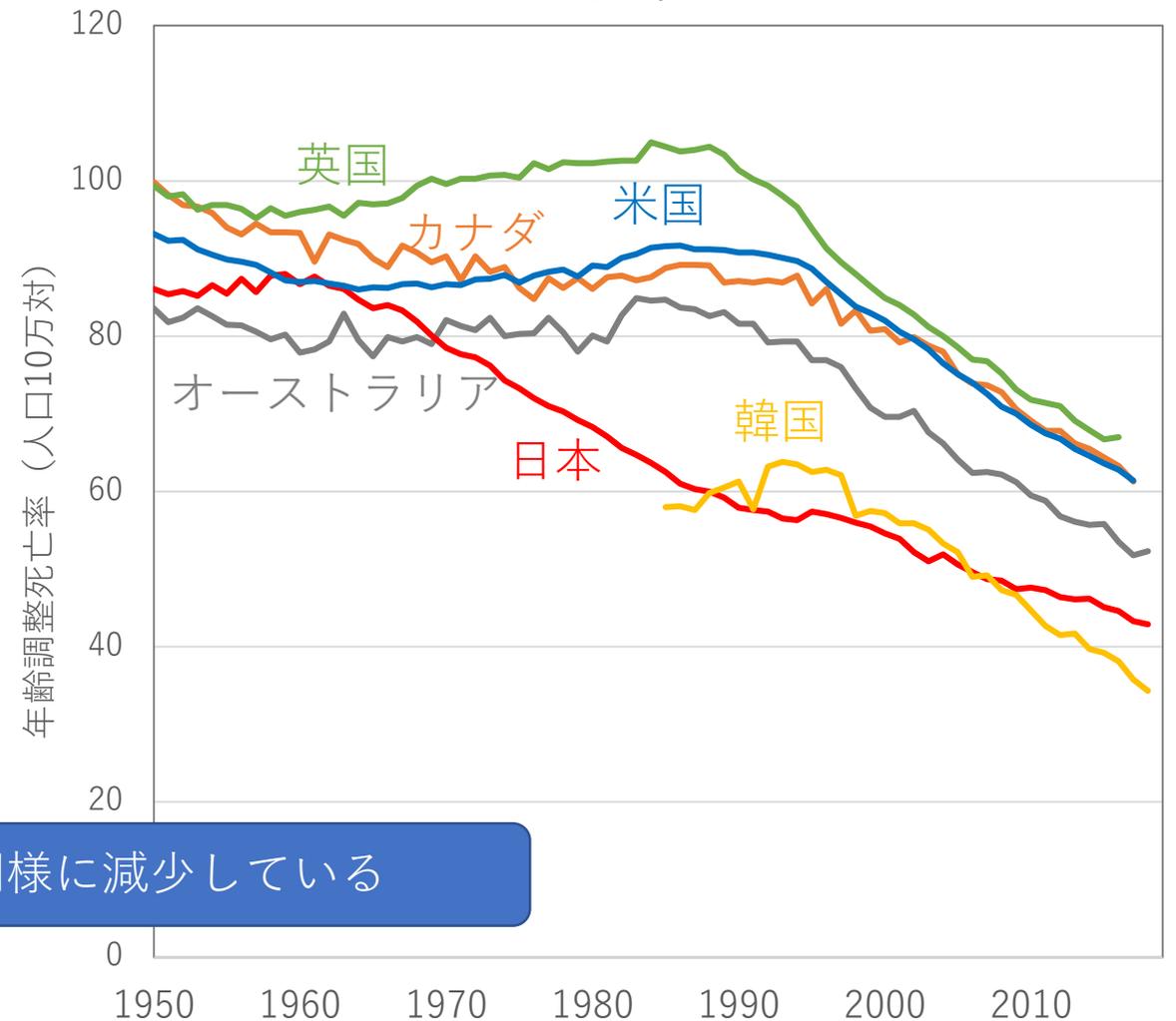
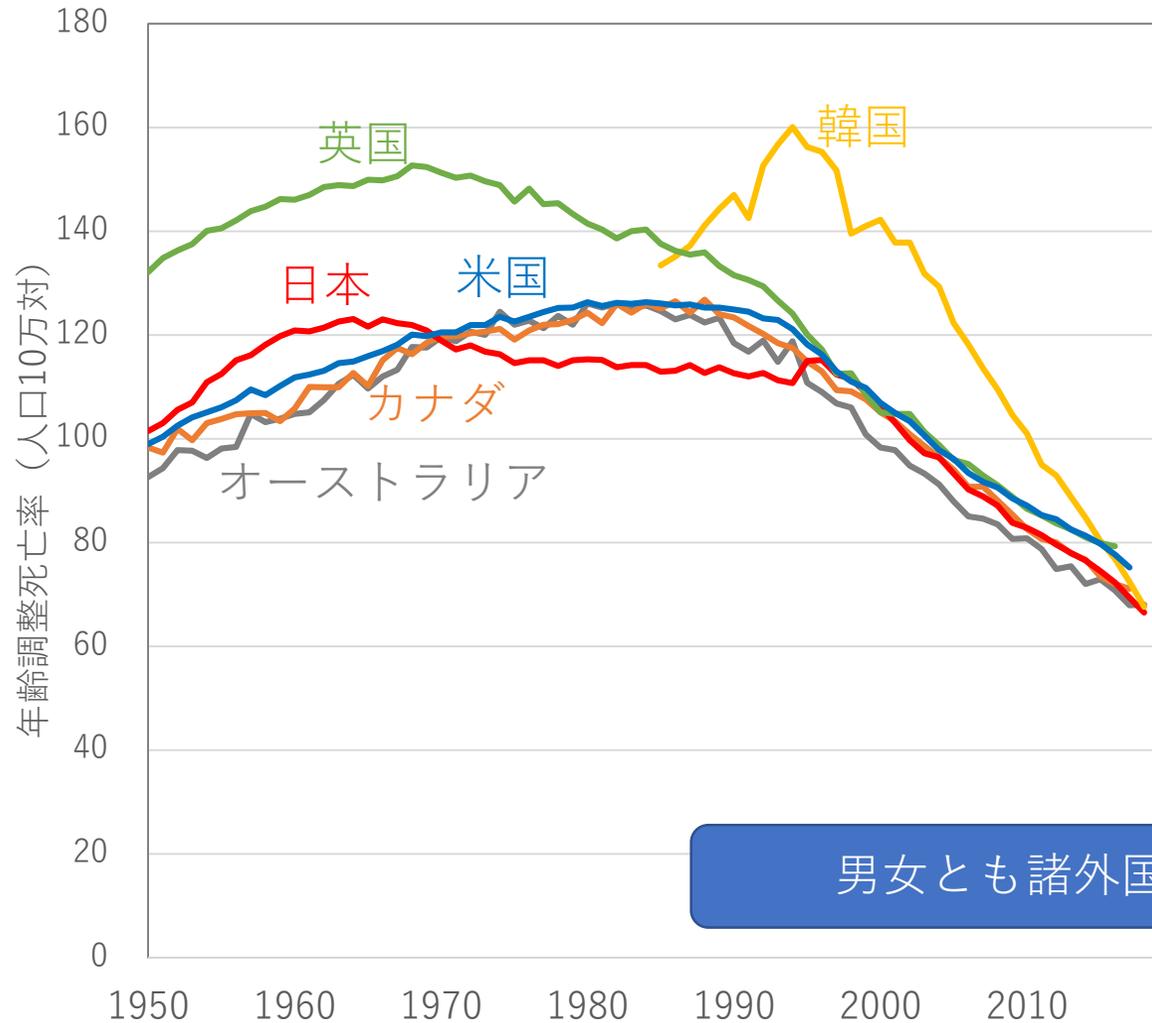
年齡調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満

75歳未満 年齢調整死亡率 全がん

男性

女性



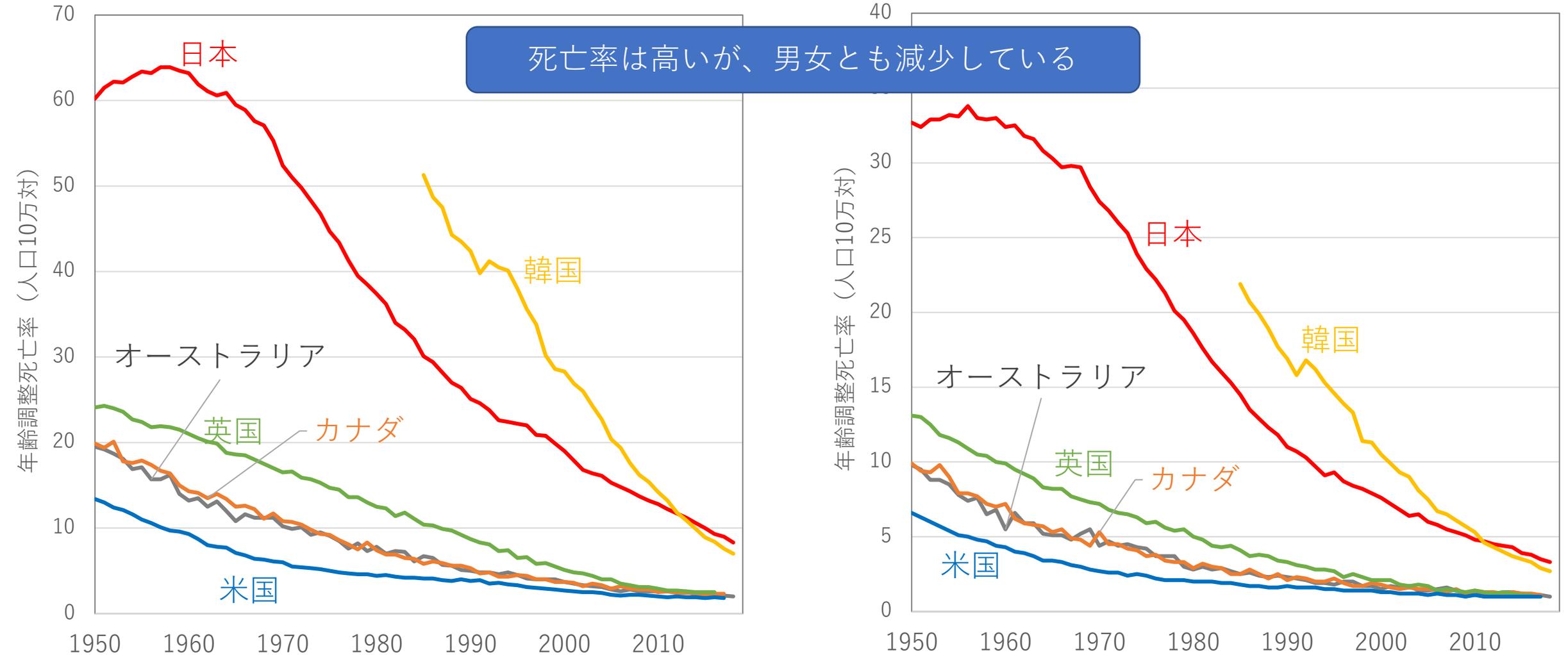
男女とも諸外国同様に減少している

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。全がんは非悪性黒色腫皮膚がんを含まない。
出典：Jpn J Clin Oncol. 2021;51:1680-1686、International Agency for Research on Cancer Global Cancer Observatory (<https://gco.iarc.fr/>) 12

75歳未満 年齢調整死亡率 胃がん

男性

女性

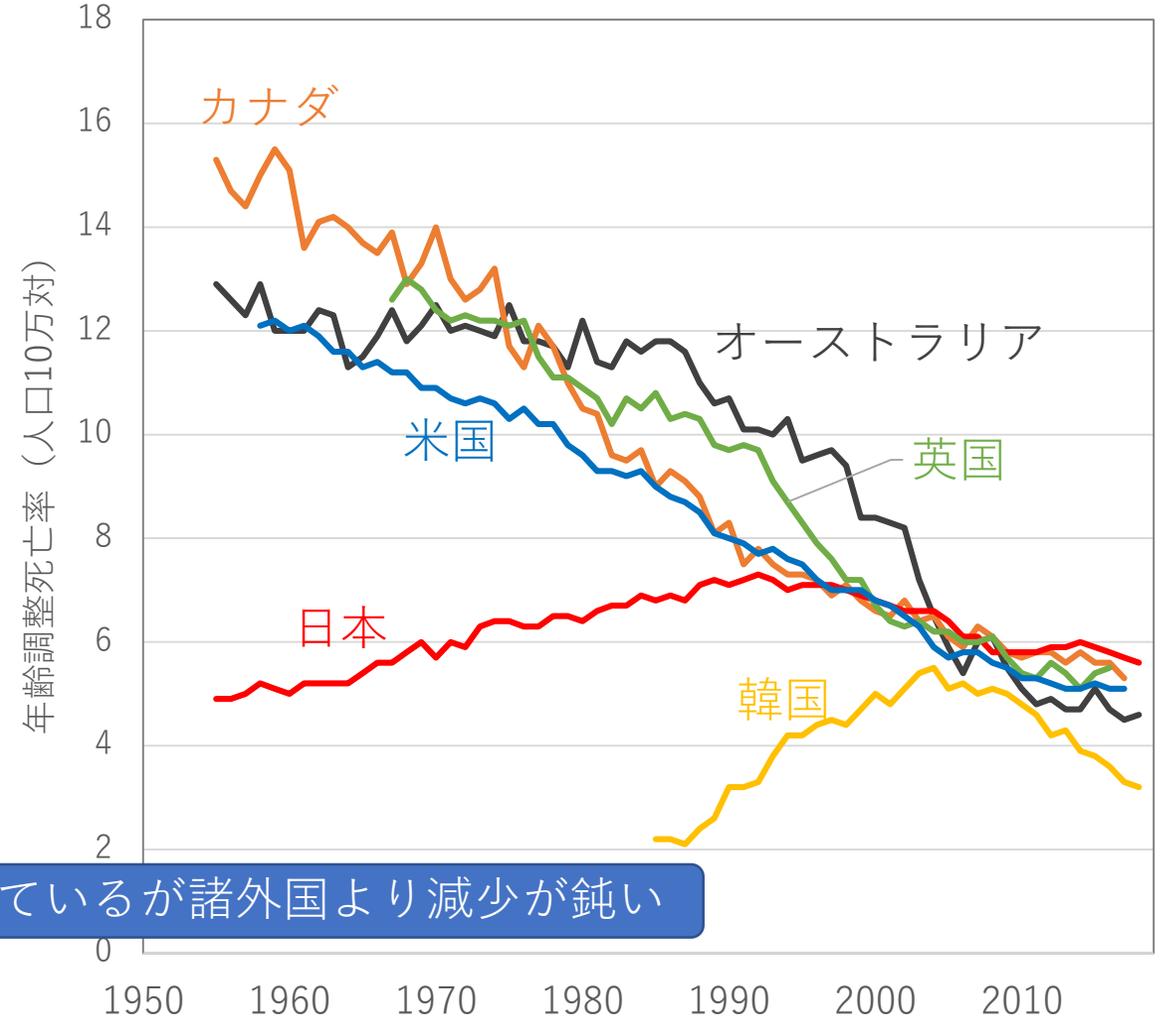
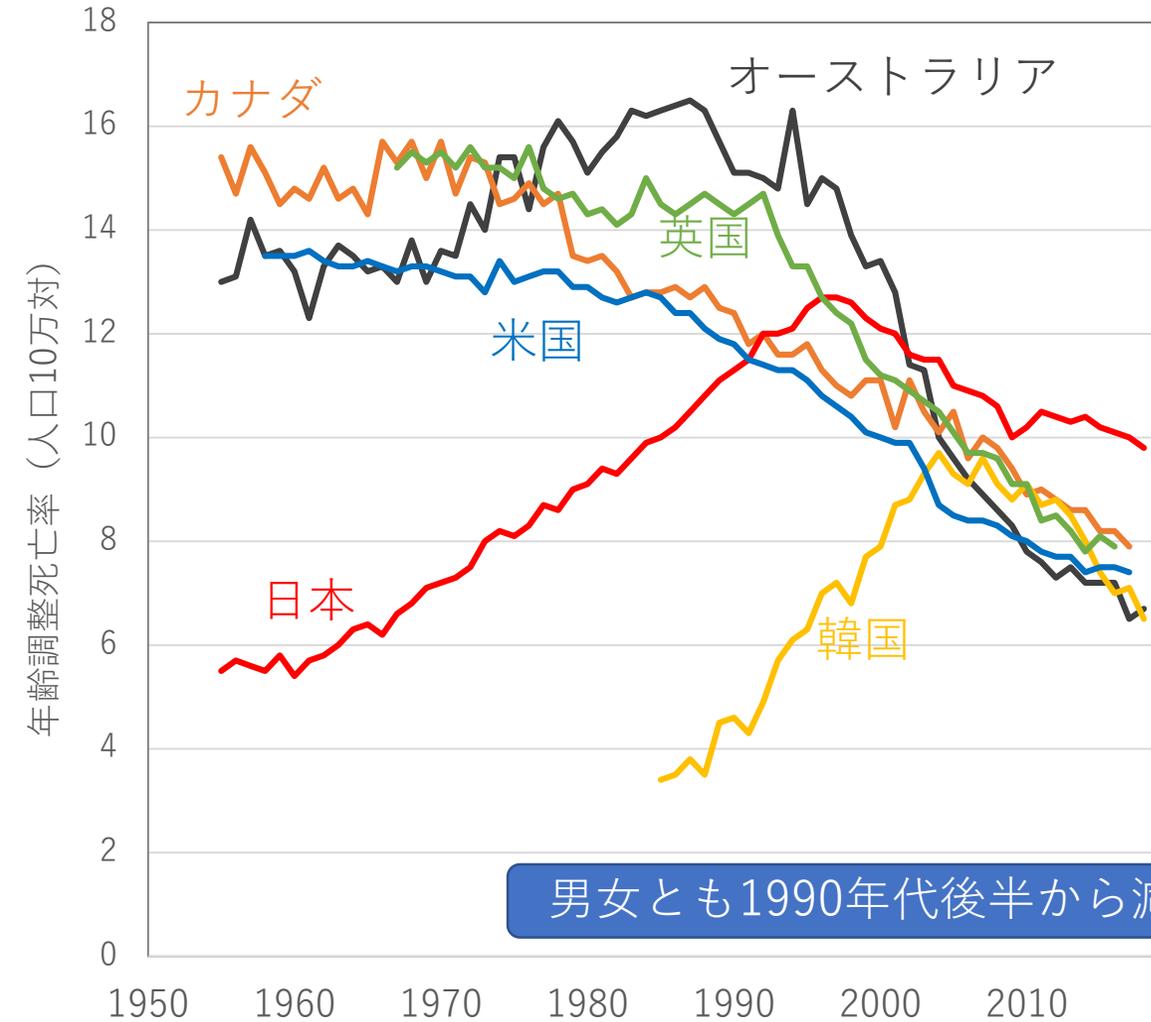


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満 年齢調整死亡率 大腸がん

男性

女性



男女とも1990年代後半から減少しているが諸外国より減少が鈍い

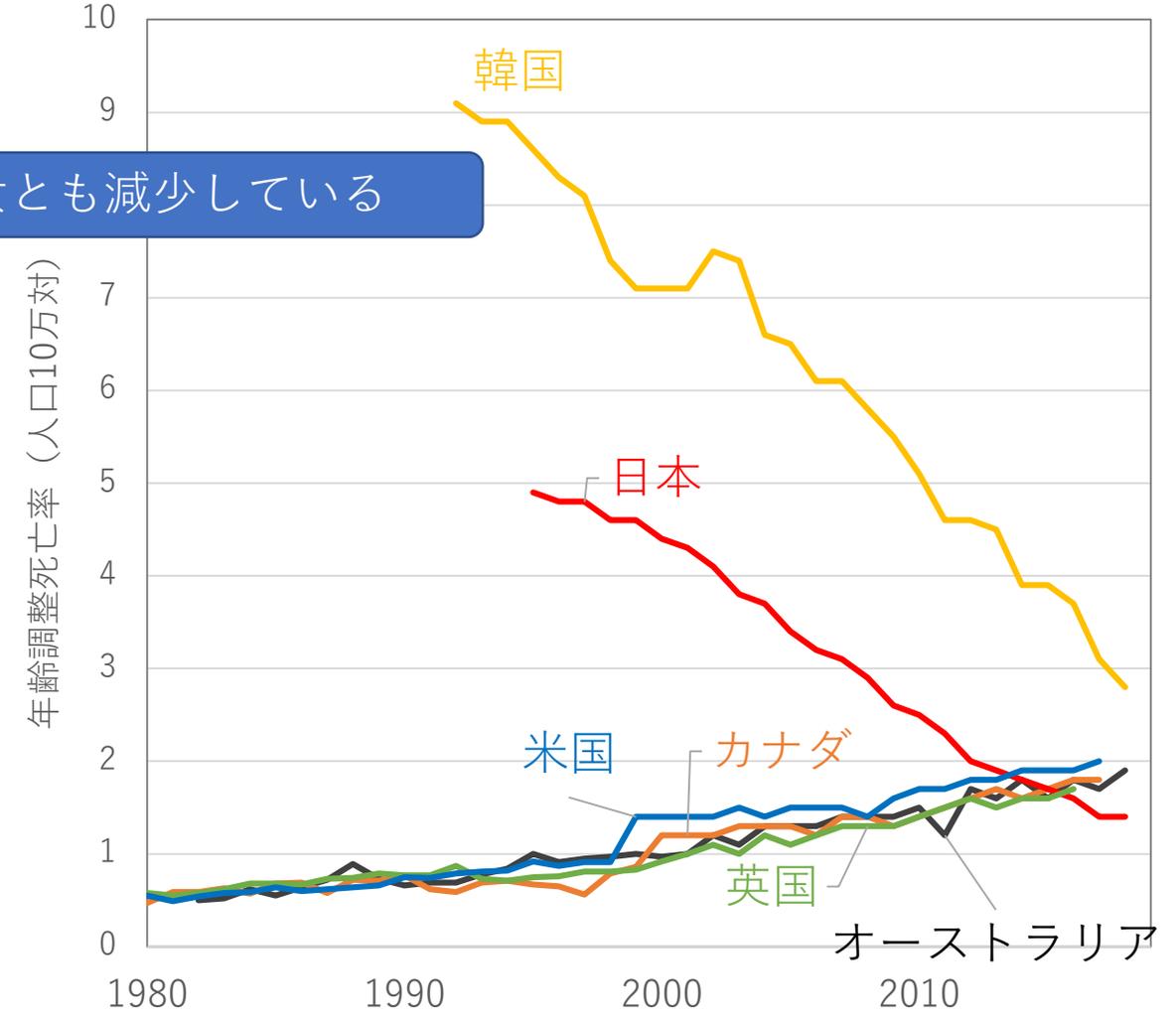
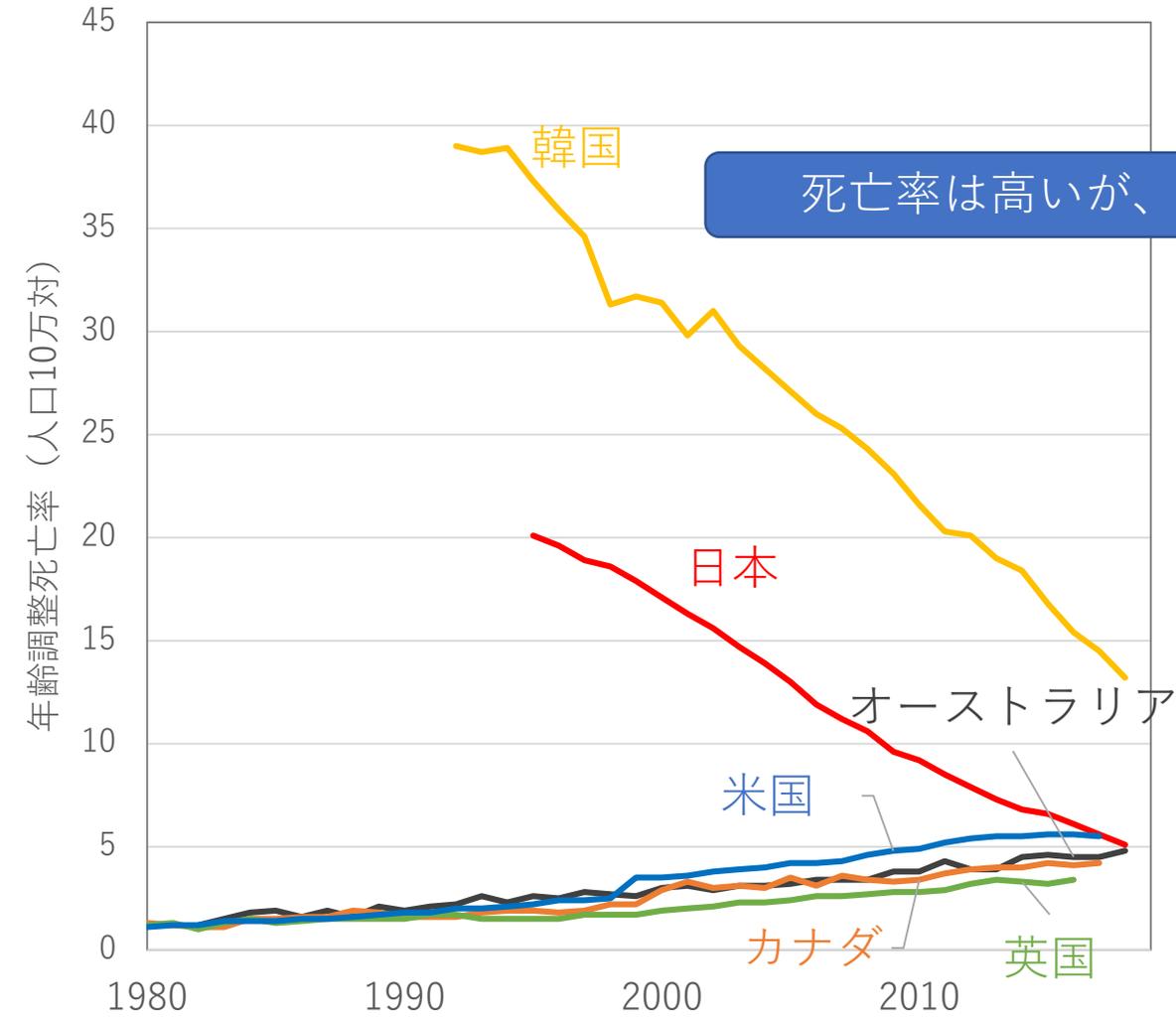
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満 年齢調整死亡率 肝臓がん

男性

女性

死亡率は高いが、男女とも減少している

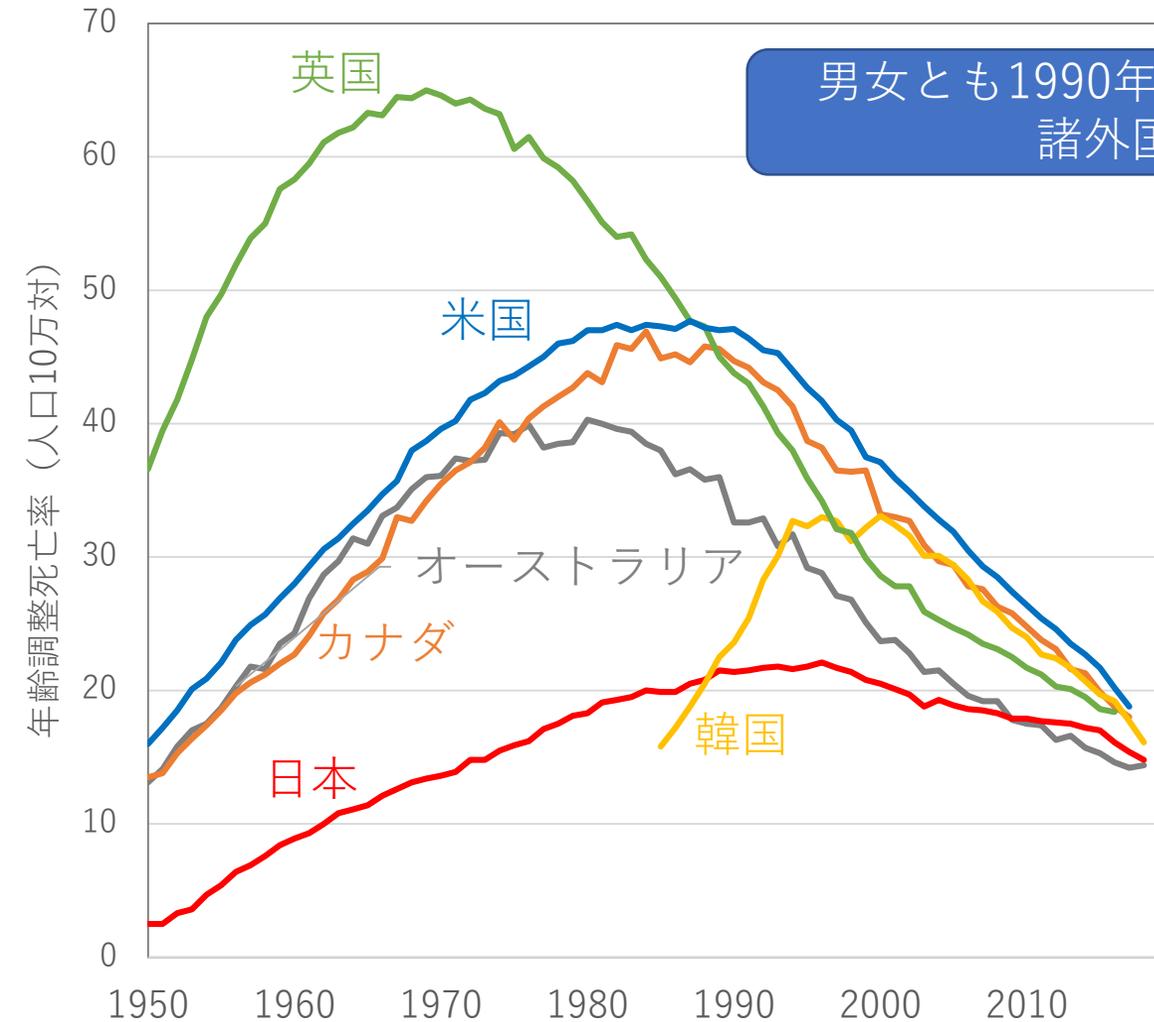


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

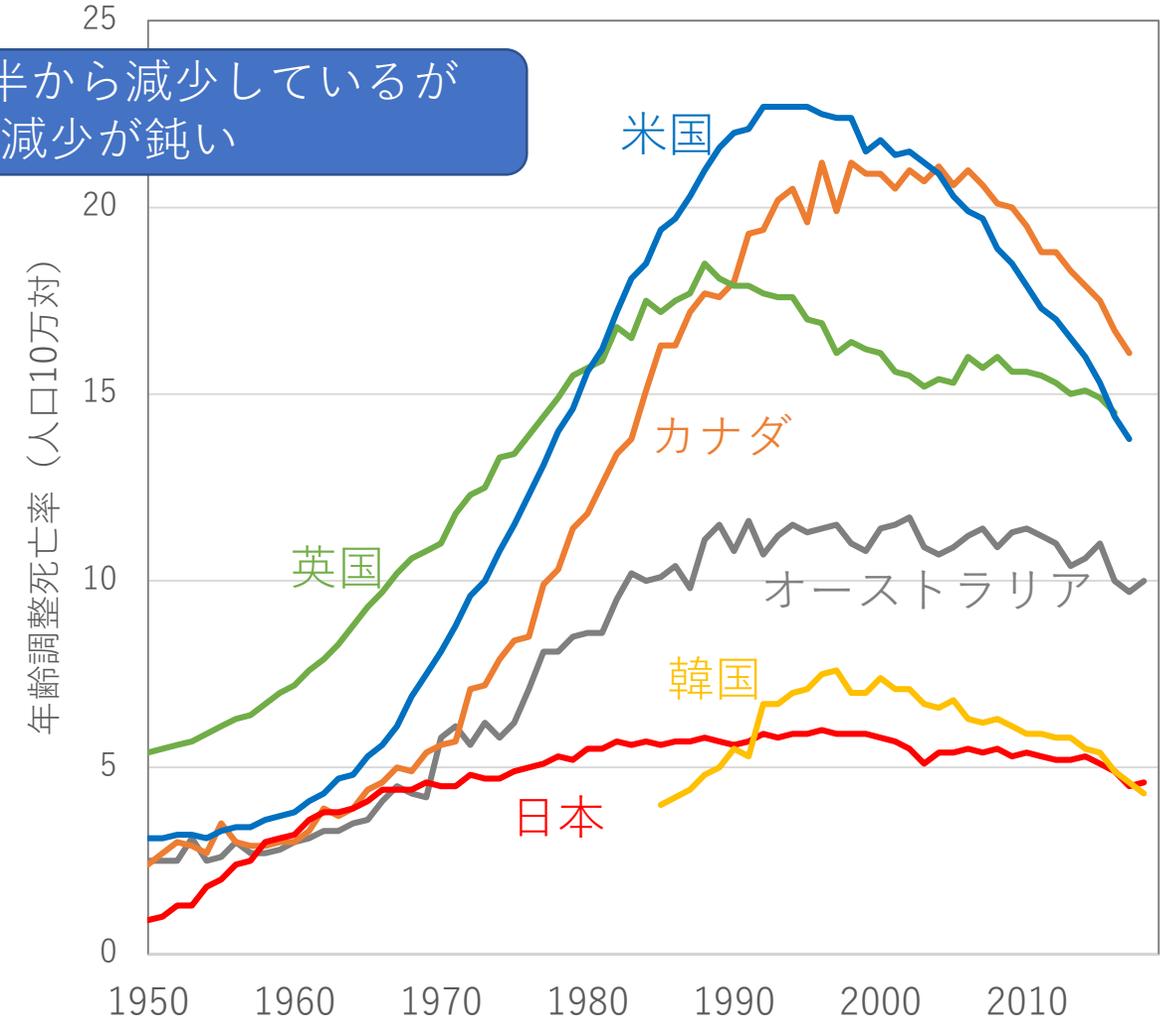
75歳未満 年齢調整死亡率 肺がん

男性

女性



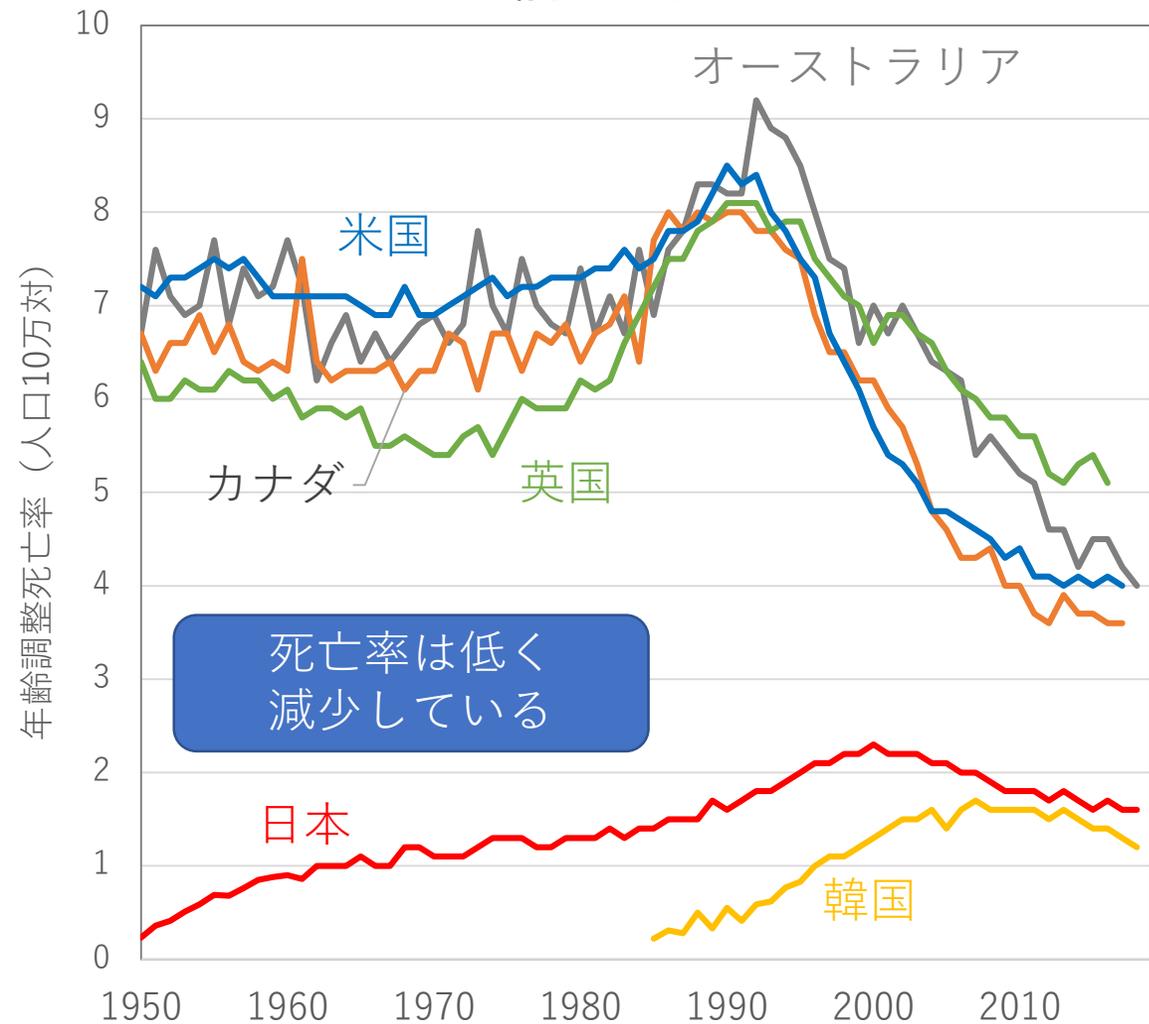
男女とも1990年代後半から減少しているが
諸外国より減少が鈍い



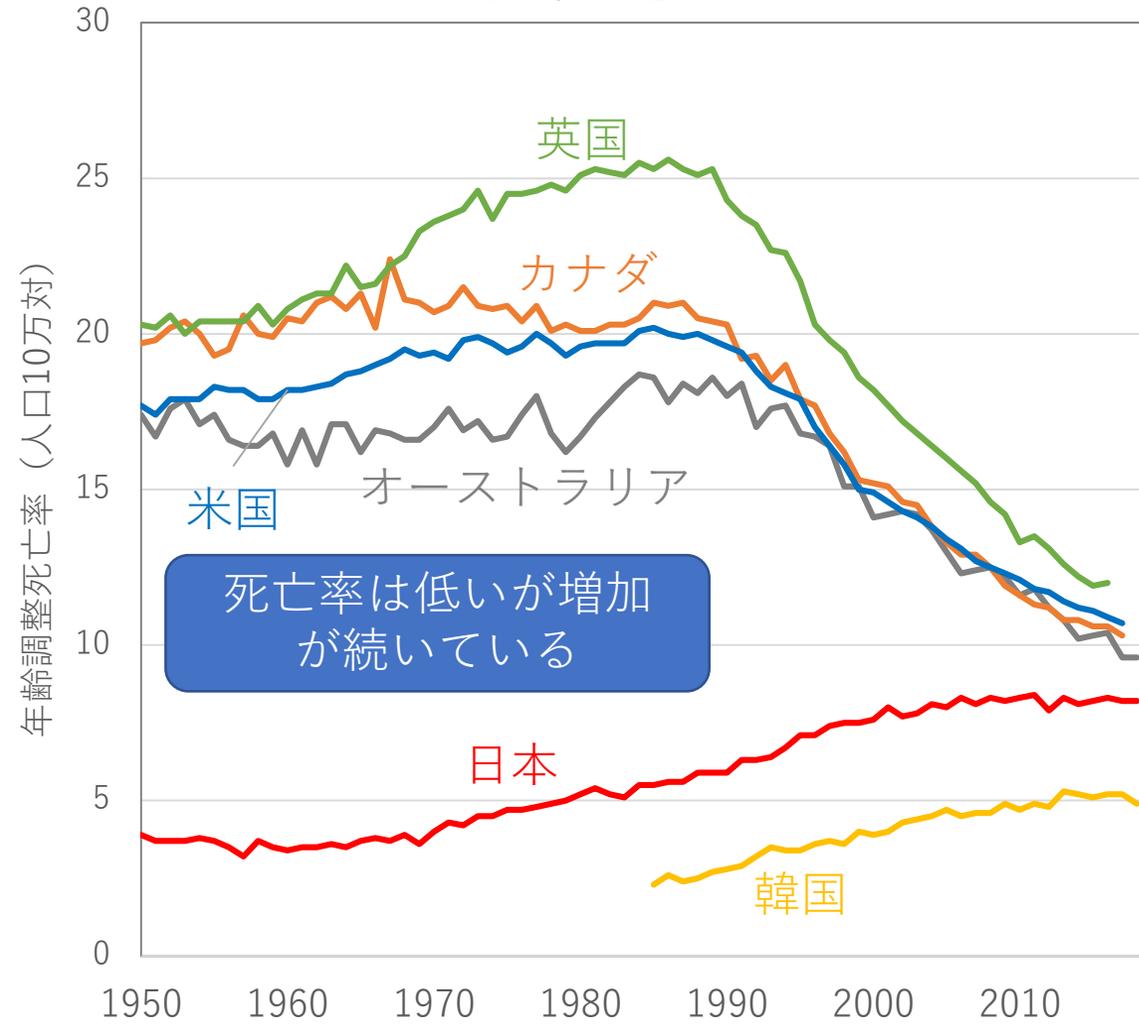
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満 年齢調整死亡率 前立腺・乳がん

前立腺がん



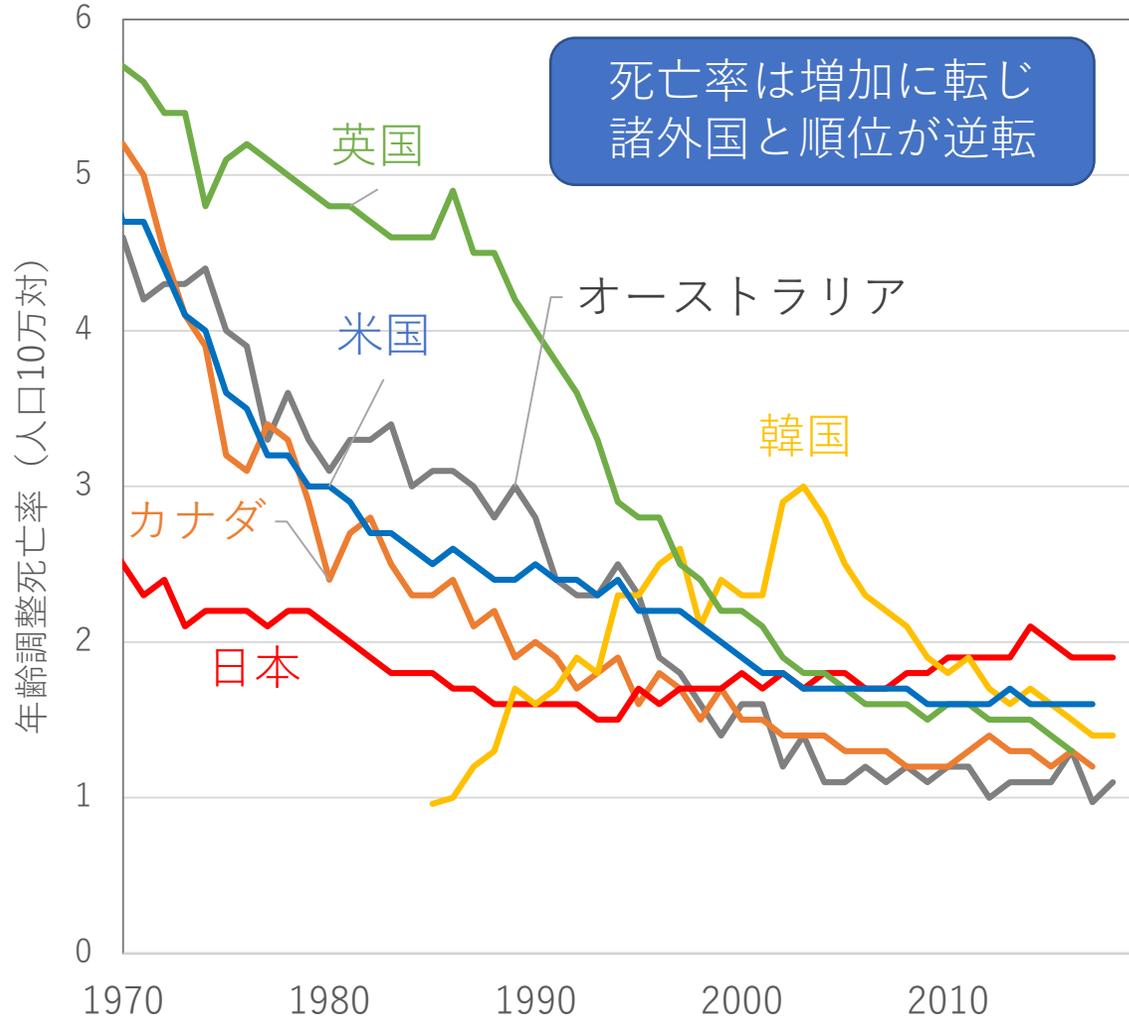
女性乳がん



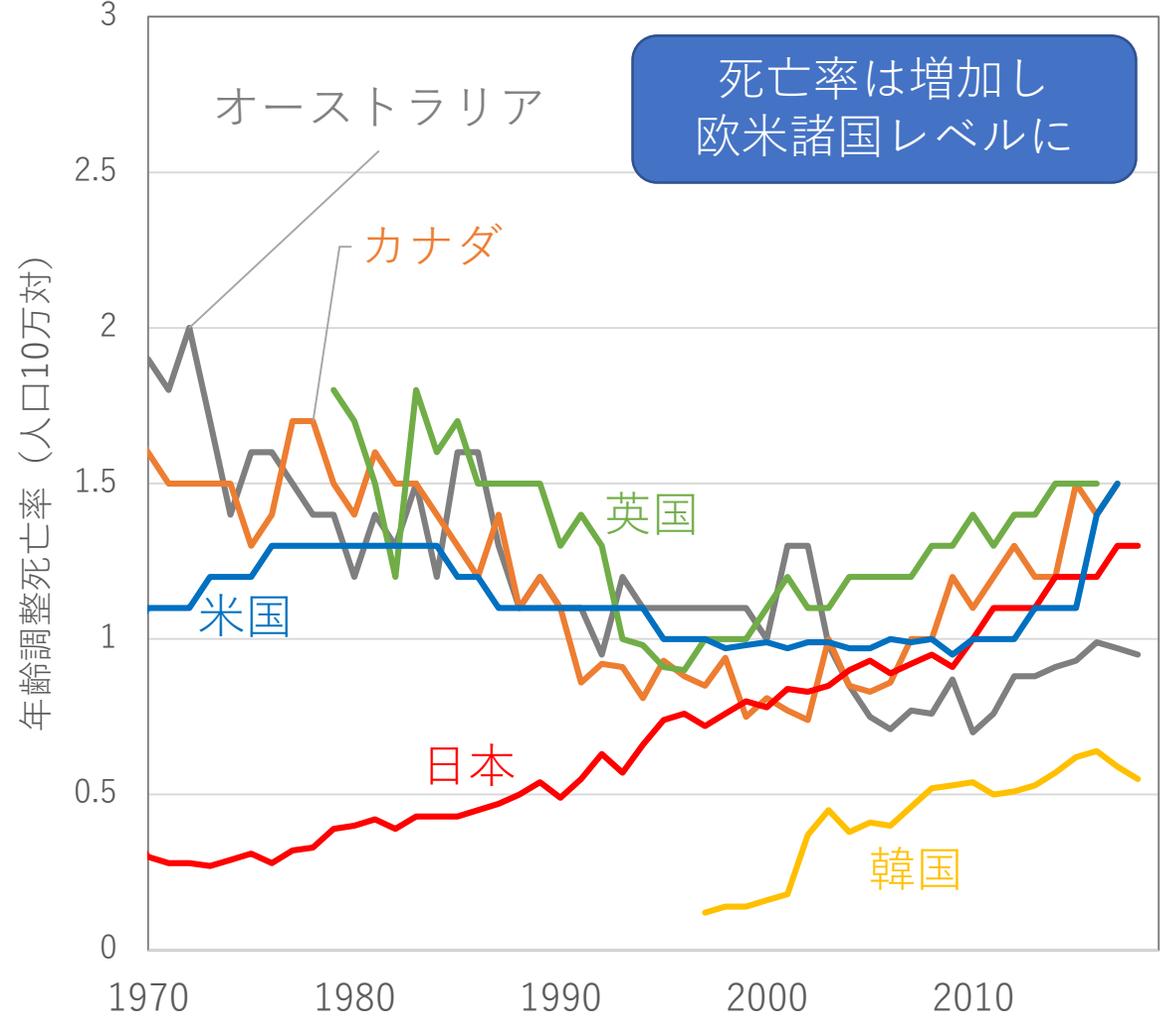
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満 年齢調整死亡率 子宮頸がん・体がん

子宮頸がん



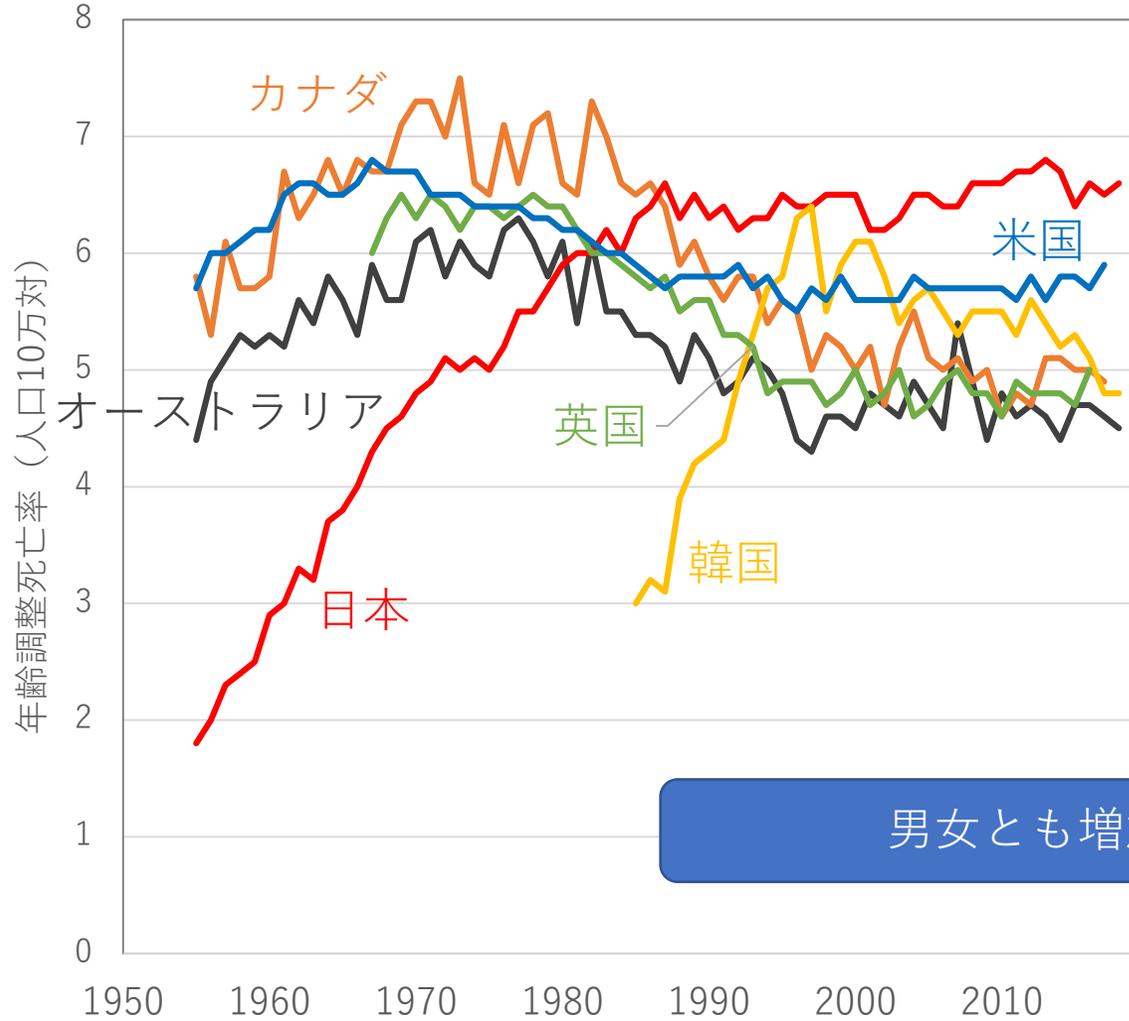
子宮体がん



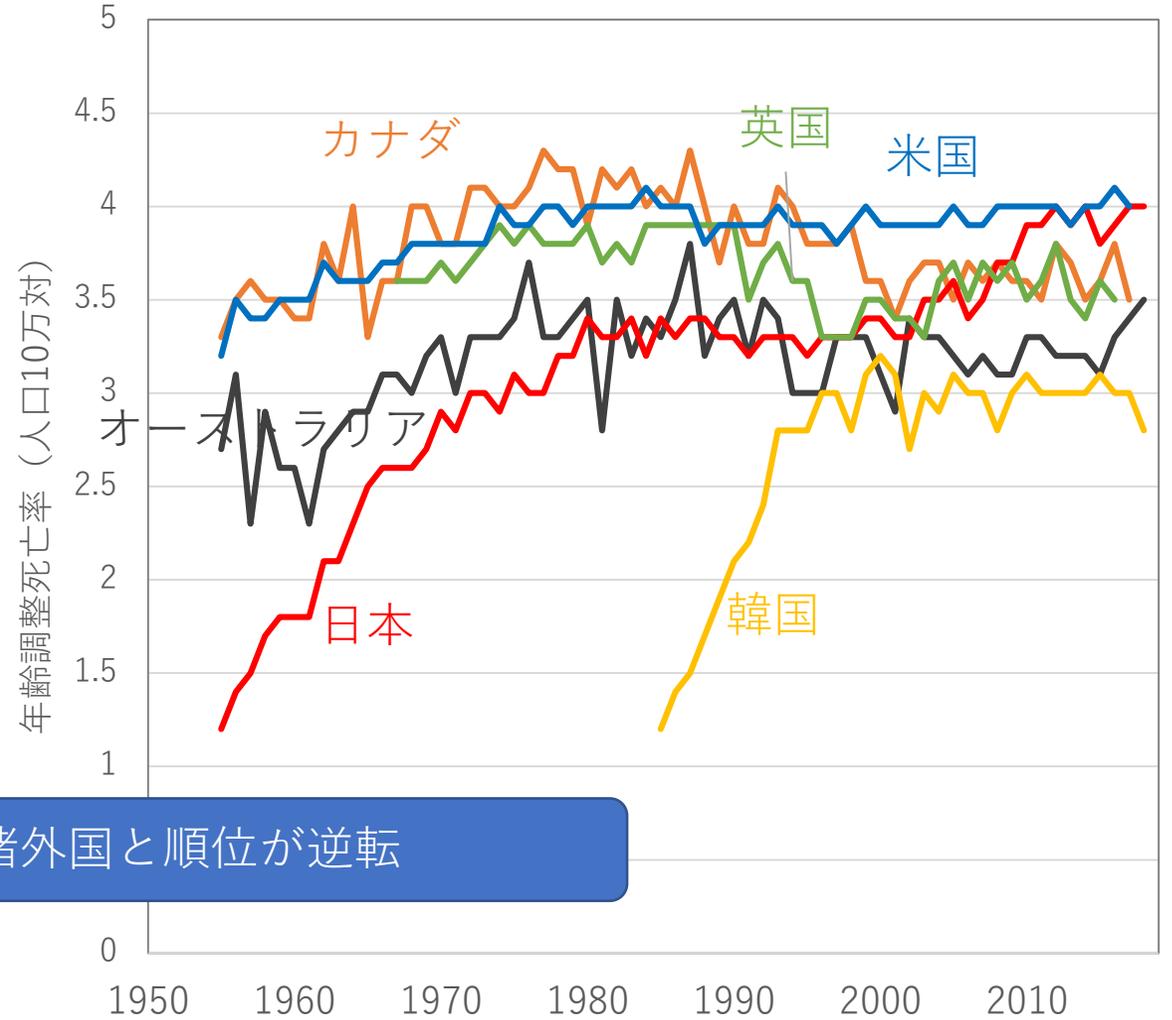
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満 年齢調整死亡率 膵がん

男性



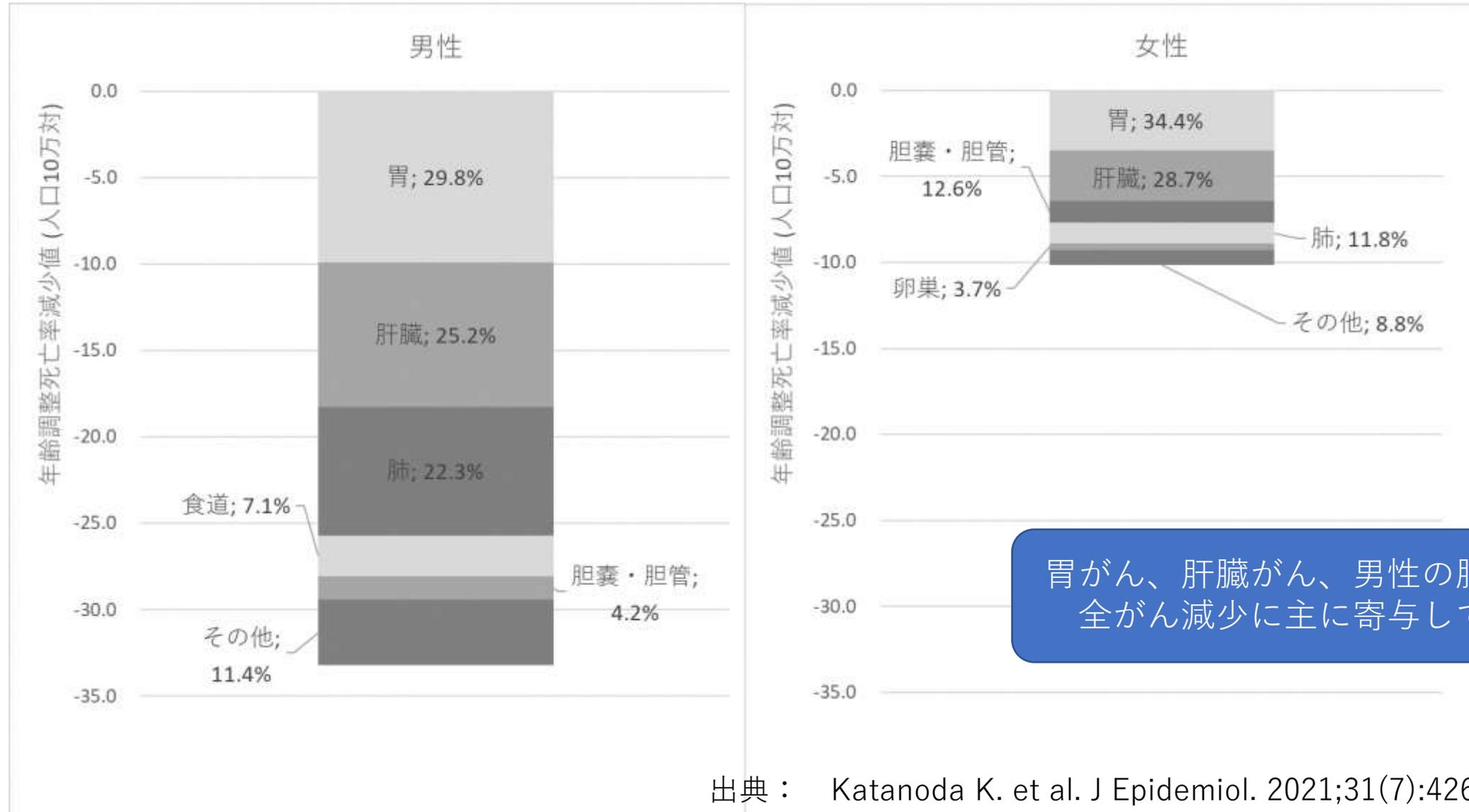
女性



男女とも増加し諸外国と順位が逆転

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

日本の全がん年齢調整死亡率減少に寄与した がん種の内訳（2009～2018年）



がん年齢調整死亡率の国際比較のまとめ

- 全がんの年齢調整死亡率は諸外国と同様に減少している
- この減少には胃がん、肝臓がん、男性肺がんが主として寄与している
- 大腸がん、肺がん、女性乳がんは欧米諸国より減少率が鈍く、かつて欧米諸国より低かった死亡率が逆転、あるいは同レベルになっている
- 子宮頸がんは諸外国と対照的に増加に転じている（近年は韓国より高くなっている）